

319  
361



始





芙蓉生著

原則適用  
應用戰術

# 想定集

第一卷

大正  
4. 12. 18  
内交

東京 宮本武林堂發行







原則適用  
應用戰術  
想定集ノ前提



本書ハ應用戰術指導者並ニ戰術研究者ノ參考ニ資スル目的ヲ以テ編纂シタモノデアアル抑戰術ノ眞諦ヲ會得シテ自家藥籠中ノモノト爲スト否ナトハ唯其ヲ咀嚼スルコトノ如何ニ在ル隨ツテ本書ニ依ツテ戰術運用ノ妙味ヲ會得スルノモ亦一ニ讀者諸君ノ奮勵ニ待ツノ外ハナイサレバ讀者諸君ハ次ニ述ベル所ノ本書研究上ニ於ケル須要件並ニ凡例ヲ熟讀シ著者ノ意ノ存スル所ヲ了得シテ後研究ニ著手セラレルコトヲ切ニ勸告スルモノデアアルイデヤ左ニ研究要件ヲ述ベルトシヨウ



# 一 想定作爲法ニ就テ

想定作爲ハ單ニ指導者バカリデナク研究者モ常ニ受働的位置ニバ  
 カリ立ツヲ能事トシナイデ積極的ニ研究スルコトヲ勉メタナラバ  
 大ニ其進歩ノ度ヲ速メルモノデアアルカラ一般讀者ニ特ニ本項ノ一  
 注意  
 讀ヲ勸告スル

## 其一 想定作爲ノ著眼

戰術ノ想定ハドウシテ作爲スルモノデアアルカ又ハ作爲ニ  
 就イテ何ニカ祕訣ガアルノカトノ質問ハ從來予ノ屢耳ニ  
 スル所デアアルガ之ニ對シテ予ハ『先ツ戰術能力ヲ養成スル  
 ニ在リ』トノ數語ヲ以テ答ヘルノ外ハナイ予ガ本書ヲ草シ  
 タル所以實ニ茲ニ胚胎スルノデアアル

元來戰況ノ變化ハ極マリガナイ隨ツテ其想定ヲ作爲シ情  
 況ヲ構成スルニモ亦千態萬様ノ變化ヲ來スモノデアツテ  
 要ハ實際ノ情況ト確乎タル戰理ニ基イテ作爲シ趣味ト實  
 益トヲ併有シテ居ツテ專修員ニ原則ノ應用ヲ適切ニ了得  
 サセルコトノ出來ルモノデナクテハナラナイ其之ヲ能ク  
 スルト否ナトハ唯作爲者ノ蘊蓄セル戰術能力ノ如何ニ存  
 スルノデアツテ大體ニ於テ兵要地學ノ能力モ要スルガ其  
 兵要地學ト謂フノモ用兵上カラ或一定ノ土地ヲ觀察シタ  
 モノデ結局戰術ニ外ナランノデアアル又大兵團ノ作戰ヲ想  
 定スルニハ或ハ接壤國ノ關係トカ或ハ制海權ノ關係トカ  
 或ハ上陸地ノ關係トカ或ハ國防上ノ關係トカ諸種ノ複雑  
 シタ要件ヲ討究セネバナラヌガ戰術ノ原則ヲ應用スル爲



メニハ何地デモ善イ其利用シヨウトスル地方ガ研究シヨ  
ウトスル項目ニ當テ箴マレバソレデ善イノデアツテ決シ  
テ作爲上ノ祕訣ノアルデモナケレバ又特別ノ方法ガアル  
ノデモナイ要スルニ戰術研究ヲシナイデ想定作爲ノ要領  
ヲ如何ニ研究シテモ自己ノ戰術能力以上ノ想定ハ決シテ  
出來ルモノデナイコトハドコ々迄モ忘レテハナラヌコ  
トデアアル

以下參考トシテ豫備研究事項ノ若干ヲ述べ次ニ一通リ作  
爲順序ノ一例ヲ舉ゲテ見ヨウ

### 其二 想定作爲ノ豫備研究

一 戰例カヲ情況ヲ取ルコト

戰術ノ原則ハ悉ク戰例カラ生レテ來タモノデアアルカラ  
原則ヲ適用シヨウトスル情況ヲ畫クニハ架空的妄想ハ  
固ヨリ何等ノ價值ガナイ夫故實際ノ情況ヲ戰例ニ索メ  
之ニ類似ノ地形ヲ選定シテ多少ノ修正ヲ加ヘ之ヲ基ト  
シテ情況ヲ構成シタナラバ實際ニ近イ想定ヲ得ルコト  
ガ出來ルノデアアル但戰場ノ地圖ヲ利用スルナラバ戰史  
ヲ其儘想定トスルコトガ出來ルノデアアル  
二 嘗テ研究シタコトノアル想定ノ骨組ヲ抽出スコト  
戰例カラ想定ヲ作ルコトハ容易ノヤウデ實ハ困難デア  
ル是レ幾多ノ戰史ヲ涉獵シ隨意ニ適切ナ例ヲ索メルコ  
トガ出來ル程度迄戰史ヲ研究セネバナラヌカラデアアル  
夫故手取早ク想定ヲ作爲スルニハ嘗テ研究シタコトノ



アル想定ノ骨組ヲ取り之ニ類似ノ地形ヲ見出シ多少ノ修正ヲ加ヘテ新想定ヲ作爲スルノデアアル

三 嘗テ研究シタコトノアル想定ヲ修正スルコト  
一ノ想定ニ若干ノ修正ヲ加ヘテ新研究事項ヲ發見スルノデアアル例ヘバ敵情ヲ變ヘルトカ彼我ノ衝突點ヲ變ヘルトカ或ハ彼我ノ兵力ヲ變ヘルトカシテ決戰防禦ヲ持久防禦ニ變ヘ或ハ遭遇戰ヲ陣地占領ニ變ヘ或ハ陣地ノ選定ヲ他ニ索ムルナドデアアル此ハ比較的容易デアツテ而カモ原想定ノ眞味ヲ解スル上ニ於テモ效果ガアル

### 其三 想定ノ作爲順序

一 研究シヨウトスル種類ヲ決定スルコト

例ヘバ陣地攻撃トカ持久防禦トカ決戰防禦トカ各種ノ局地戰ノヤウナ研究項目ノ大方針ヲ決定スル

二 地圖上ニ於テ利用シヨウトスル地形ヲ選定スルコト  
前項研究ノ種類ガ決定シタナラバ次ニ此研究ニ適合スル地形ヲ地圖上ニ於テ選定スルノデアアル夫レニハ研究シヨウトスル種類ニ依ツテ選定ノ著眼並ニ作爲ノ順序ヲ異ニスルガ今假リニ持久防禦ノ研究トシテ以下逐次其順序ヲ示スト

茲ニ高地ヲ利用スル持久防禦ヲ研究スル目的デ之ニ適合スル地形ヲ索メ之ヲ得タナラバ次ニ  
三 任務ヲ如何ニ與フベキカ  
此任務ノ與ヘ方ニ依ツテ研究ノ趣味ノ多少ト效果ノ度



チ異ニスルモノデアアル單ニ某陣地ヲ占領スル方法ノミ  
 ナ研究スルナラバ「何地附近ヲ占領シテ何方向ヨリ前進  
 スル敵ヲ拒止シ何日何時頃到着スル後續部隊ノ來著ヲ  
 待ツヘキ任務ヲ以テ云々」トスレバ陣地選定ノ爲メノ地  
 形判斷及任務判斷ヲ要シナイデ唯其陣地判斷ヲスレバ  
 善イガ陣地選定ノ範圍ヲ廣クスレバ現時ノ情況ニ於テ  
 占領スルコトノ出來ル數陣地ノ利害ノ講究ヲ要スル即  
 チ任務ニ基イテ地形判斷ヲ爲シサウシテ後決定陣地ニ  
 對シ陣地判斷ヲスルコト、ナル

## 四

## 占領法ト兵力編組

同一陣地ニ於テモ兵力編組ト自他ノ關係ニ依ツテ其占  
 領法ヲ異ニスルモノデアアル之ヲ決定スルニハ先ヅ專修

員ノ程度ヲ考察セネバナラナイ即チ初學者ニ對シテハ  
 地形ニ全ク適合スル兵力編組ヲ與ヘテ其占領法ヲ適確  
 ニ會得サセ專修員ノ程度ノ高イニ隨ツテ或ハ兵力ヲ小  
 ニシテ陣地ヲ某程度ニ制限スルコトヲ研究サセ或ハ山  
 砲ヲ以テシタナラバ陣地選定ガ容易デアルガ殊更困難  
 ナ野砲ヲ配屬シテ陣地ノ選定法ヲ研究サセ或ハ後續部  
 隊ノ來著ノ關係上前進陣地占領法等有ラユル手段ヲ講  
 ジルコトヲ研究サセ其他後續部隊ノ大小ニ應ジテ其進  
 出ノ難易ヲ顧慮シ陣地中某部分ノ占領法ノ可否等ヲモ  
 研究サセル

尙茲ニ一言スルコトガアル即チ兵力ノ大小ハ研究ノ難  
 易ト一致スルモノト思惟シテ居ル者ガアルガ其ハ誤デ



五

敵情ノ示シ方

アル一 小部隊ノ研究モ深遠ナル戦理ニ基カネバ解決ノ付カナイモノモアレバ師團ヲ以テスル配備モ地形ニ適合シタナラバ容易ナコトモアル又初學者ニ對シテモ或ハ説明ニ依ツテハ兵力ヲ大ニスルヲ便トスルコトモアル夫故兵力編組ハ研究目的ニ合スルヤウ適當ニ決定スベキモノデアル

敵情ノ示シ方

敵情ノ示シ方モ實ニ千變萬化デアツテ到底一定ノ基準ヲ與ヘラレルモノデナイ即チ敵ノ兵力若クハ到着點ヲ明示シナイデ諸種ノ情況ヲ判斷シテ配備サセルコトモアレバ初學者ニ對シテハ某程度迄明瞭ニ示シテ陣地占領ヲ容易ニサセルコトモアリ或ハ不明ノ敵ヲ二方面以

六

時間ノ計算

上ニ現ハシテ之ニ對スル占領ヲサセルコトモアレバ或ハ特ニ數倍ノ優勢ナ敵情ヲ與ヘテ之ニ對スル陣地占領法ヲ研究サセルコトモアリ或ハ自己ノ方ニ向ツテ前進シテ來ルカ又ハ他ノ方面ニ轉進スルカ不明ナ情況ヲ構成シ此何レニモ應ジル持久防禦ノ陣地占領法ヲ研究サセルコトモアル等千態萬様デ到底一々此等ノ敵情ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ

時間ノ計算

持久防禦ニアツテハ敵ノ攻撃開始時刻ト友軍ノ來著若クハ敵ヲ拒止スルニ要スル時間即チ時間ノ餘裕ヲ得ヨウトスル其時間ト陣地ノ價值ト陣地構築ニ使用スルコトノ出來ル時間トガ陣地選定ト其占領法ニ大ナル關係



チ有スルモノデアアルサウシテ陣地ノ價值ハ大凡ソ敵ノ兵力ニ依ツテ何程支ヘルコトガ出來ルカノ見込ヲ概定スルノデアアツテ即チ地形ト火力ノ效力計算ト戰例トニ依ツテ支ヘルコトノ出來ル大凡ノ時間ノ見込ヲ豫想スルノデアアル此モ實ニ不定ナモノデ各人其見解ヲ異ニシ殊ニ同一陣地ニアツテモ其構築ノ如何ニ依ツテハ抵抗時間ノ異ナルコトハ彼ノ旅順ヲ攻略スルニ前ニハ三日間後ニハ六ヶ月間ヲ要シタノデア見テモ稍極端ナ例デアアルガ其消息ガ窺ヘルノデアアル故ニ指導者ノ公平ヲ見地カラ推定ノ出來ル常識ニ訴ヘルヨリ外ハナイノデアアル

兎ニ角此ノヤウニ抵抗時間ヲ見積リ之ヲ基準トシテ敵

ノ到著時刻友軍ノ來著時刻陣地占領ニ使用ノ出來ル時間ヲ計算シ茲ニ彼我ノ到著地點ト時刻ヲ想定ニ現ハスノデアアルガ尙數陣地アル場合ニハ何レデモ占領スルコトノ出來ル範圍内ニ於テ時刻ヲ定メテ自他ノ關係上何レカノ陣地ヲ決定サセルノデアアル

其他時刻ノ計算ニモ晝間ノ某時間支ヘルノト一夜ヲ支ヘルノトニ依ツテ情況ヲ異ニスルカラ此等ノコトモ顧慮セネバナラヌ

六 彼我ノ情況ハ自然ノ戰理ニ合スルヲ要スル

此ハ重大ナ要件デアアル想定作爲ノ巧拙ハ實ニ茲ニ在ルト謂ツテモ善イ位デアアル

例ヘバ持久防禦ニ適スル陣地ガアツテ此陣地ノ占領法



ヲ研究シヨウトスルニハ先ヅ全般ノ關係上其陣地ヲ選  
定セネバナラヌヤウニ情況ヲ仕組ムコトガ必要デア  
然ルニ假リニ本隊ノ進出ヲ容易ニサセル任務ヲ有スル  
部隊トシテ陣地其モノガ如何ニ善クテモ占領スレバ必  
ズ敵ノ攻撃ヲ受ケルニ決マツテ居ル其陣地ヲ無理ニ占  
領シナイデモ遙カ後方ニ於テ本隊ノ進出ヲ掩護スルコ  
トノ出來ル他ノ陣地ガアツテ夫レヲ占領スルノヲ有利  
トスルコトモアル又本隊ガ進出困難ナ地形ヲ前進シテ  
居ルノデナイナラバ一部隊ノ先遣ハ不必要デアツテ却  
テ各箇擊破ノ機會ヲ敵ニ與ヘルモノデアルカラ必要ガ  
ナイノニ先遣部隊ヲ出シタリ或ハ後方デ善イモノヲ態  
々前方ヲ占領サセルヤウナコトヲスルノハ是皆戰理ニ

背戻シテ居ルモノデア  
ル又縦ヒ必要上先遣セラレタ部  
隊ガアツテ掩護ノ任務ヲ持ツテ居ツテモ敵ガ目下不利  
ナ地形ヲ通過シ我ニ向ツテ前進シテ居レバ其出口ヲ叩  
クノヲ最モ有利トスルコトガアル此場合ニ夫レヲ叩ク  
コトノ出來ナイ様ニ敵トノ距離ヲ接近サセレバ自ラ陣  
地占領ノ餘裕ガ無クナツテ殆ド遭遇戰ヲ惹起スルニ至  
ルコトガアル  
經驗ニ乏シイ指導者ノ想定作爲ノ缺點ハ實ニ茲ニアル  
ノデア  
ル尙之ヲ若干具體的ニ言ヘバ『何々附近ヲ占領シ  
テ持久防禦ヲ爲スニ決ス』トカ或ハ『決戰防禦ヲ爲スニ  
決ス』トカノ判決ヲ想定ニ與ヘテ居ルガ之ニ對シ一步遡



ツテ『何故ニ其處ヲ占領スルニ決シタカ、如カズ敵ガ不利  
ナ地形ヲ進出シテ來ルノデアルカラ此機ニ乗ジテ攻撃  
シテハ如何』ト反問ヲ與フレバ之ニ答ヘテ曰ク『夫レハ研  
究外デアツテ兎ニ角防禦ニ決シタノデアアル』ト是レ全ク  
戦理ニ基カナイコトヲ自白セルモノデアアルマイカ著  
者ガ此冒頭ニ於テ戰術想定ノ作爲ハ戰術能力ニ基クト  
述ベタノハ其意實ニ茲ニアルノデアアル此ノヤウナ場合  
ニハ側方ニ在ル本軍ノ關係上後方ヲ取ラセナイ爲メ某  
地點迄進出セネバナラヌヤウニスルカ或ハ他ノ方面ニ  
モ敵ヲ現ハシ一方ノ敵ノ出口ヲ叩カウトスレバ其攻撃  
中他ノ方面カラ側方ヲ衝カレル等ノ情況ヲ現出シテ是  
非共某陣地ヲ占領シナケレバナラナイヤウニ想定ヲ仕

組ムノデアアル  
八 想○定○中○ニ○決○心○ニ○關○ス○ル○斷○定○ヲ○與○ヘ○タ○モ○ノ○モ○戰○理○ニ○合○  
ス○ル○ヲ○要○ス○ル○

想定中ニ『何々ノ情況ヲ得テ何々スルニ決ス』ト判決ヲ與  
ヘル場合ニモ其判決ハ問題トシテモ當然夫レニ歸著ス  
ルモノデナケレバナラナイ其不可ナコトハ前項ニ述ベ  
タ主旨ニ依ツテ明瞭デアラウ

九 地○形○ノ○假○想○若○ク○ハ○地○物○ノ○價○値○ノ○指○示○

地形ノ假想ニ現在ノ地形ヲ全然無視スルノハ善クナイ  
ガ研究ノ目的ニ依ツテ例ヘバ徒涉ノ出來ル河川モ全然  
徒涉ノ出來ナイモノトスルコトモアリ或ハ之ニ反スル  
コトモアル其他橋梁ノヤウナモノモ有ルモノヲ無イト



シ反對ニ無イモノヲ有ルト假想スルコトモアル又森林ノヤウナモノモ實際ニ反シテ通過ノ難易ヲ假想スルコトモアレバ或ハ圖上ニ在ル森林ヲ無イト假想スルコトモアル是等ノコトハ實際ト必ズシモ相反スルト謂フコトガ無イカラ研究事項ニ依ツテハ屢起ルコトデアアル地圖上ニテ判斷スルコトノ出來ナイ地物ガ其大小疎密深淺等ニ依ツテ利用價值ヲ異ニスルモノハ各想定ニ必ズ其程度ノ明示ヲ要スル

十 想。定。ニ。具。備。ス。ル。ヲ。要。ス。ル。諸。項。

以上逐次研究シテ茲ニ一ノ想定ガ出來ル譯デアアル即チ  
一 彼我全般ノ情況

二 研究セントスル部隊ノ任務或ハ目的及某時期ニ於ケル狀態

三 地形、地物ノ狀態若クハ之ガ假想

四 研究セントスル部隊ノ兵力、編組

十一 研究項目

以上ノ諸事項ヲ決定シテ然ル後更ニ本想定ハ持久防禦中ドシテ場合ヲ研究スルニ適スルカ夫レニ附隨シテ或ハ翼ノ托シ方或ハ高地防禦ノ要領或ハ側防設備或ハ地區ノ區分法或ハ射擊開始ノ時期或ハ防禦戰鬪ニ於ケル各級指揮官ノ處置或ハ逆襲ノ時機等原則ニ當テ箴メテ最モ研究ノ價值アルモノヲ細部ノ研究項目トスルノデ



アル

十二 結論

以上ハ單ニ持久防禦ノ想定作爲ニ就テ抽象的ニ其順序ト方法ヲ例示シタニ過ギナイ其他各種ノ場合ニ於ケル順序方法ハ各其考案ヲ異ニスルモノデアツテ到底一々之ヲ例示シテ説明スルコトガ出來ナイカラ本書ノ各種想定ニ依ツテ反覆研究シ自ラ其要領ヲ會得セラレルトヲ希望スル

一一 戰術指導法ニ就テ

戰術指導法ノ巧拙ハ專修員ニ與ヘル效果ニ大ナル關係ヲ有スルモノデ同一ノ想定同一ノ情況ヲ以テ指導シテモ其

方法宜シキヲ得ナカツタナラバ全ク死物トナツテ何等ノ感興モ印象モ與ヘルコトガ出來ナイ其詳細ハ到底今茲ニ述ベルコトガ出來ナイカラ唯特ニ注意ヲ要スル諸件ヲ列記スルニ止メテ置ク

一 問題ノ課シ方

問題ノ課シ方ハ專修員ノ程度ニ應ジテ難易ノ度ヲ適當ニ斟酌セネバナラヌガ好奇心ニ驅ラレルモノ或ハ謎的ノ問題ハ效果ガ少ナイ實際起リ得ルヤウナ問題ヲ捉ヘ專修員ガ條理アル判斷ニ基イテ利害ヲ攻究スレバ自然ニ正解ヲ得ルヤウナ問題ヲ選定スルコトガ必要デアアル但程度ノ高イ者ニハ『將來何ヲ爲サントスルヤ』ト謂フヤウナ問題ヲ課シテ實際戰場ニ於テ起リ得ル自然ノ情況



ヲ畫カセルコトモ必要デア  
二 情<sup>○</sup>況<sup>○</sup>ノ<sup>○</sup>與<sup>○</sup>ヘ<sup>○</sup>方<sup>○</sup>

情況ノ與ヘ方モ實際アリ得ルヤウナコトヲ基礎トシ實  
戰的デナケレバナラヌソレニハ指導者ハ何レカノ戰場  
ノ光景ヲ戰史若クハ實驗中カラ索メテ之ヲ腦裏ニ畫キ  
指導者自ラモ全ク戰場ノ人トナツテ情況ヲ示サナケレ  
ハ空想ニ走セ知ラズ識ラズ非實戰的動作ニ陷ルモノデ  
アルコトニ注意ヲ要スル

三 敵<sup>○</sup>情<sup>○</sup>ノ<sup>○</sup>示<sup>○</sup>シ<sup>○</sup>方<sup>○</sup>

敵情ノ示シ方モ專修員ノ程度ト研究目的ニ依ツテ其精  
疎ヲ異ニセネバナラヌ即チ初學者ニ對シテハ判斷ノ基  
礎トナルヤウナモノヲ明瞭ニ示ス必要ハアルガ漸次進

歩スルニ隨ツテ戰場ニ於テ實際知ルコトノ出來ルヤウ  
ナ事項ヲ漠然ト示シ或ハ得タ情報ノ出所ニ依ツテ其信  
用ノ度ヲ異ニスル判斷ヲ要求スル場合ニ在ツテハ信ジ  
テ善イモノカ或ハ土人ノ言等ナルカチモ區別シテ示ス  
必要ガアル要スルニ指導者ハ敵ガ然カ々々爲スデアラ  
ウト考察スル一定ノ動作ヲ頭ニ畫イテ其中知ルコトノ  
出來ルヤウナコトバカリヲ示スノデアアルガ夫レチ如何  
様ニモ判斷スルコトノ出來ルヤウニ示セバ專修員ノ頭  
腦ヲ練ルニ效果ノアルモノデアアル是レ戰場ニ於ケル敵  
情ノ變化ハ指導者デモ知ルコトノ出來ナイノガ實際的  
デアアルカラデアアル

本想定集ハ通常對抗シテ居ルモノヲ掲ゲテアルカラ指



導者ハ之ヲ巧ニ利用スルナラバ諸種ノ研究ガ出來ルノ  
デアアル

四 比較研究ヲサセルコト

一 想定ニ就イテ研究シタナラバ直ニ其情況ノ一部分ヲ  
變ヘテ他ノ方案ヲ取ルヤウニ仕組ンデ比較研究ヲサセ  
タナラバ專修員ニ適確ナル理解ヲ與ヘルコトガ出來ル  
五 指導ハ啓發的ナルコト

數多ノ研究材料ヲ羅列シテ注入的ニ指導スルノハ戰術  
教育ニ於テ特ニ效果ノ少ナイモノデアアル乃チ戰術ノ應  
用ヲ何程諳記シテモ夫レヲ再ビ其儘適用スル情況ノ起  
ルコトハ殆ド稀デアアル隨ツテ戰術ノ諳記ハ何等ノ效果  
ガナイカラ唯各種ノ場合ニ於テ原則ヲ如何ニ適用スベ

六

キカノ準據ヲ明確ニ與ヘルコトガ緊要デアアル之ガ爲メ  
ニハ原則ノ根本ヲ自得サセルノデアアル夫レニハ啓發的  
教育ガ特ニ必要デアアル

原則ヲ反證的ニ示スコト

專修員ガ原則ニ背戾シテ居ル處置ヲ執ツテ動カナイカ  
或ハ甲乙何レヲ採決スルカ等判定シ難イ場合ニ於テハ  
夫レヲ一案トシテ實際起リ得ルヤウナ敵情ヲ示シ裁決  
ヲ過マツタ爲メ不利ナ形勢ニ陥ツタ極根ヲ示シタナラ  
バ大抵反省スルモノデアアル併シナガラ指導者ガ自說ニ  
屈服サセヨウトシテ殊更ニ作ル情況ハ固ヨリ不可デア  
ル又一案トシテ採用ノ價值ノアルモノニ就イテ情況ヲ  
進メ最後ニ其可否ヲ自判サセルコトモ效果ノアルモノ



七 講評及意見ノ述ベ方

講評及意見ノ述ベ方ハ專修員ニ與フル效果ニ大ナル關係ヲ有スルモノデアアル縱ヒ過失ヲ犯シテモ之ヲ一言ノ下ニ排斥スルノハ其進歩ヲ阻害スルモノデアアルカラ其過失ノ原因ヲ詳細ニ探究シ其根本ニ立入ツテ自覺サセルコトガ必要デアアル又一案トシテ採用シ得ラレル價値ノアルモノデアアレバ大體ニ於テ其案ノ缺點ヲ指摘シ次ニ假リニ此案ヲ採用スルモノトシテ其細部ニ於テ更ニ不可ナル點ニ意見ヲ加ヘルヤウニシタナラバ效果ノアルモノデアアル例ヘバ攻撃方向ノ選定ヲ過マツタ者ニ對シテ凡テヲ不可ノヤウニ意見ヲ述ベルノハ專修員ニ全

ク失望サセルモノデアアルカラ先ヅ攻撃方向ノ選定ヲ過マツタ不利ノ點ヲ述ベ次ニ答解者ノ案ヲ採用スルモノトスルナラバ配備ハ此ノヤウデナケレバナラヌトノ意見ヲ述ベルト其作業ニ於テ何等カノ得ル所ヲ發見スルモノデアアル然ルニ乙案ヲ採ツタ者ニ對シ甲案ノ定規ヲ當テガヒ彼レモ不可此レモ不可トノ意見ヲ加ヘルノハ其當ヲ得タモノデナイ

三 戰術研究者ノ著眼ニ就テ

戰術ノ研究ハ他ノ科學ノ研究ト大ニ其趣ヲ異ニシテ居ルモノデアツテ此研究ニ方ツテ其著眼當ヲ得ナカツタナレバ幾百卷ノ戰術書ヲ讀ンデモ何等得ル所ガナクテ終ルノ



デアアル今茲ニ現時兵學研究界ニ於ケル缺陷ノ二、三ヲ述バ  
 テ讀者諸君ノ反省ヲ促スデアラウ  
 一 自。テ。苦。心。ノ。結。果。眞。髓。ヲ。會。得。ス。ル。コ。ト。  
 戰術ノ原理ハ充分ニ咀嚼シテ全ク之ヲ消化シ全然我有  
 ト爲シ之ヲ應用スルニ方ツテハ活殺自在心手期セナイ  
 デ自然ニ名案ガ浮ブト謂フヤウナ域ニ達セネバ實際ニ  
 方ツテ用ヲ爲サナイ此ノヤウナ域ニ到ルニハ其眞髓ヲ  
 自ラ會得セネバナラナイ心血ヲ注イデ眞面目ニ研究ヲ  
 シナイデ徒ニ外面ノ形式ヲ模倣スルヤウデハ到底其域  
 ニ達スルコトノ出來ルモノデナイ彼ノ戰術ノ應用ニ關  
 スル書物ノ想定ヲ讀ミ直ニ原案ヲ見テ圖ト對照シ漸ク  
 之ヲ了解シ得テ夫レデ満足シテ居ルヤウデハ幾百ノ想

定ニ就イテ研究スルモ何等腦中ニ殘ラナイデ臆氣ニ記  
 憶シテ居ル事柄ガ却テ害ヲ醸スコトガアル夫レデ書物  
 ニ就イテ研究スルニモ原案ヲ見テ之ヲ會得スルノデナ  
 クシテ自ラ原案ヲ作ル覺悟ヲ以テ研究シタナラバ得ル  
 所ガ多イ徒ラニ百ノ想定ヲ讀過スルカラ見レバ眞面目  
 ニ一ノ想定ヲ縱横カラ研究スル方ガ却テ會得スル所ガ  
 多イモノデアアル又教官ニ就イテ學ブニモ何等勞シナイ  
 デ偶然原案ニ近イ答解ガ出來タヤウナ場合ニ於テノ印  
 象ハ甚ダ薄イモノデアアルガ之ニ反シ何等カノ過失ヲ指  
 摘酷評セラレタ作業ハ比較的深ク腦底ニ印象ガ殘ルコ  
 トハ諸君ノ悉クガ經驗セラレタコト、信ズルノデアアル  
 特ニ苦心ノ結果尙モ注意ノ足ラナカツタ點ヲ指摘セラ



二

レタヤウナ場合ハ一層確實ナ印象ヲ殘シ此ノヤウナ過失ハ再ビシナイコト、ナルモノデアアル之ガ即チ消化シ得タノデアアル獨學ノ研究モ自ラ求メテ此利益ヲ獲得スルコトヲ工夫スレバ其效果頗ル大デアアル此ノヤウニシテ遂ニ戰術ノ原理ヲ我有ト爲スコトノ出來ル域ニ達スルノデアアル然ルニ現代ノ研究者中往々ニシテ勞シナイデ大ナル效果ヲ收メヨウトシテ居ル者ガアル此ハ其誤レルノ甚シイコトヲ思ハネバナラヌ

敵情判斷ヲ輕視スル弊害ヲ除去スルコト

戰鬪ニ於テ我意思ニ反スル動作ニ出ヨウトスル者ハ敵デアアル又我計畫ノ裏ヲ搔カウトスル者モ亦敵デアアル然ルニ戰術ノ研究ニ方ツテ敵情ヲ輕視シ甚シイノハ我配

備ニ都合ノ善イ動作ニ出ルヤウニ判斷否夢想スル者ガアルノハ非常ナ間違デアアルソレデ戰術ノ考案ヲ立テルニ方ツテハ先ヅ自身ヲ敵ノ位置ニ置イテ對手ノ企圖ヲ妨害スルニハ如何ナル方法ヲ取ルノガ最モ有利デアアルカヲ眞面目ニ考ヘタナラバ之ニ對スル適當ナ方案ガ自然ニ浮ブモノデアアル然ルニ某地點ハ兵力ヲ配備スルニ我ニ都合ガ善イカラト謂ツテ無意味ニ之ニ兵力ヲ併ベルヤウナコトヲスレバ全ク敵ニ致サレルコト、ナルノデアアル此事ハ學修者バカリデナク指導者モ往々ニシテ或研究上ノ目的ノ爲メニ敵ニ關シテノ判斷ヲ等閑ニ附シ我ニ都合ノ善イ得手勝手ナ處置ヲスル者ガアル此ハ大イニ戒メネバナラヌコトデアアル但敵ガ常ニ完全無缺



ノ動作ヲ爲スモノトシテバカリ研究スルト茲ニ亦一ノ  
 弊害ガアル即チ餘リ此事ニ拘泥シテ仕舞フト手モ足モ  
 出ナイコトニナツテ遂ニ消極ニ陥ルモノデアラカラ敵  
 ノ動作ヲ最モ至當ニ判斷シ之ニ對スル處置法ヲ研究シ  
 テ置イテ敵ガ夫レ以外ノ動作ニ出タナラバ直ニ之ヲ看  
 破シテ其弱點ニ乗ジル機會ヲ捉ヘルコトガ必要デア  
 之ニハ餘程ノ機眼ヲ要スルノデアツテ所謂彼ヲ知り己  
 ナ知ルノ明ガナケレバ此域ニ達シ得ナイ  
 本書ニ於テ對抗シテ居ル想定ヲ掲ゲタノハ聊カ茲ニ見  
 ル所ガアツテ從來ノ缺陷ヲ補フ考ニ出タノデア  
 レトテモ唯敵ニ關スル或一例ヲ舉ゲタモノデア  
 ヲリ外ニ敵ガ爲スベキコトガ無イカノヤウニ思惟スル

三

者ガアレバ是亦非常ナ誤デア  
 即チ敵ノ方ニ關シテ起  
 リ得ルヤウナ情況ノ夥多  
 アル其中ニ就イテ特ニ我  
 企圖  
 ナ妨害シヨウトスル一例  
 ナ舉ゲタニ過ギナイノ  
 デアル  
 コトヲ了知セラレタイ  
 研究ハ凡テ實戰的ナルコト  
 吾人ノ平時ニ研究シタ事  
 項ハ之ヲ直ニ戰時ニ應用  
 ガ出  
 來テコソ始メテ效果ノ  
 アルモノデア  
 爾隨ツテ實際ニ遠  
 ザカツタ机上ノ空論ハ寸  
 毫ノ價値モナイノデア  
 又吾  
 人ノ研究ハ物識リトナル  
 道樂デナイコトハ固ヨリ  
 デア  
 ヲテイザ鎌倉ト謂フ時ニ  
 之ヲ發揮シテ眞劍ノ勝  
 負ヲス  
 ルノガ唯一ノ目的デア  
 ルカラ實際ノ役ニ立タ  
 ナイコト  
 ハ悉ク空理空想デ何等  
 ノ益スル所ガナイノハ  
 言フ迄モ



ナイサレバ予ハ讀者諸君ガ此ニ留意セラレ最モ眞面目  
ナ覺悟ト用意トヲ以テ研究ニ臨マレルコトヲ切望シテ  
止マナイ斯ウシテ始メテ戰術ノ眞髓ヲ解スルコトノ出  
來ル域ニ達シ得テ事ニ臨ミ天晴レ吾人ノ本分ヲ完ウス  
ルコトガ出來ルモノデアアルコトヲ甚深甚刻ニ銘肝セラ  
レタイ

以上前提ヲ以テ裝飾的序文ニ代ヘ本書ノ内容ト共ニ切ニ其  
一讀再讀百讀ヲ望ムモノデアアル終

大正四年十一月下旬

著 者 識

凡 例

一 本書記載ノ想定ニ依リ應用戰術ヲ指導セントスル者ハ  
先ツ目次ヲ見テ研究セント欲スル想定ヲ索メラルヘシ之  
ガ爲メ目次ハ

- 一 想定ノ種類
- 二 實施地方
- 三 研究項目

ノ何レヨリモ索引シ得ル如ク編纂シアリ

二 本書各想定ノ説明ハ到底細部ニ亘ルヲ得サルヲ以テ大  
體ノ著眼概略ノ配備及其理由ノ要點ヲ記述スルニ止メタ  
リ故ニ指導者ハ尙之ヲ敷衍シテ細部ノ研究ニ移ルヲ得又



更ニ情況ヲ進メテ尙幾多ノ研究項目ヲ作ルヲ得或ハ既定  
配備ヲ命令文ニ現ハスヲ得ル等充分活用スルヲ得ヘシ此  
ノ如ク研究ノ餘地ヲ存セルハ指導者並ニ研究者ニ對シテ  
大ニ著者ノ意ノ存スル所ナリ

三 研究者ニ於テ各種ノ戰術原則ヲ實際上如何ナル地形ト  
情況ニ適用スヘキカノ例ヲ見ント欲スルトキハ目次ニ依  
リ之ヲ索メラルヘシ其他ノ場合ニ在リテハ目次ヲ見ルコ  
トナク直ニ想定ヲ熟讀シ自ラ之ニ對スル答解ヲ立案シ然  
ル後答解並ニ説明ヲ見ラルヘシ若シ然ラスシテ先ツ想定  
ノ種類及研究項目ヲ見テ問題ノ答解ニ著手スルトキハ研  
究事項ヲ豫知セル爲メ其效果至テ尠ナカルヘシ

四 各想定ニハ大抵之ニ對抗セル想定ヲ舉ケ兩方面ヨリ眞

二

面目ナル研究ヲ爲シ得ルコトニ努メタリ是レ一方ニ於テ  
兵棋若クハ實兵指揮演習ノ對抗想定ヲ作爲スル要領ヲ示  
スト共ニ從來一般研究者カ敵情判斷ヲ輕視スル弊害及我  
田引水ノ妄想打破ニ勉メタル著者ノ微意ノ存スル所ナリ  
五 所要地圖ノ示シ方ヲ單ニ何々附近トセシハ是亦著者ノ  
意ノ存スル所ニシテ乃チ所要地圖ヲ限示スルトキハ研究  
者ノ考案小範圍ニ踰躋シテ發達ヲ阻害スルノ弊アリ故ニ  
想定ヲ見ルヤ其地方全般ノ地形ニ著眼シ漸次研究ノ結果  
何レノ局地ヲ利用セサルヘカラサルカニ想到シ以テ自得  
スルコトヲ努メラルヘシ

六 戰術ノ研究ハ模型ニ倣マレハ既ニ末ナリ故ニ同一ノ地  
形或ハ類似ノ情況ニ於テモ其方策ノ異ナル所ヲ熟讀翫味

三



セラルヘシ

七 本書ノ想定ハ凡テ衛戍地ニ關係ナシ又想定ニ森林、河川、水田、道路、橋梁等ノ狀況ヲ假想シ若クハ程度ヲ示セルモノハ研究ノ必要上ヨリ來レルモノナルヲ以テ其示定ニ依リ其之ヲ明示セサルモノハ地圖上ノ判斷ニ依ルヘシ地物ノ價值ハ研究ニ大關係ヲ有スルヲ以テ決シテ之ヲ輕視スルコトナク又假想セシコトヲ等閑ニ附シ其形式ヲ臆氣ニ記憶スル如キコトアラハ爾後ノ研究ニ大ナル失敗ヲ招クコトアルヲ以テ特ニ注意ヲ拂ハルヘシ

八 本書想定ニ依ル指導ハ季節ノ關係ヲ顧慮セラルヘシ是レ拂曉並ニ日没ニ關係アル研究事項及耕作物等ハ季節ニ依リテ斟酌ヲ必要トスレハナリ

九 第一卷所要地圖次ノ如シ

一 二十萬分一

六枚

長野、宇都宮、東京、横須賀、甲府、静岡

二 二萬分一迅速測圖

十二枚

平方村、川越、坂戸村、大井町、龜久保村、飯能村、大和田町、所澤村、扇町、屋村、田無村、小川村、拜島村

三 二萬分一地形圖

二十五枚

田無、府中、拜島、下布田、連光寺、八王子、高尾山、上野原村、原町田、上溝、中野村、牧野村、長津田、當麻、用田、厚木、大山、藤澤、伊勢原、秦野、松田、總領、大磯驛、國府津村、關本村、小田原

但編纂ノ順序ハ八王子附近ニ始マリ北方川越附近ニ至リ南下シテ長津田、厚木、秦野、小田原ニ終ルヲ以テ所要地圖ハ以上ノ順序ニ準備セラルルヲ可トス



原則適用  
應用戰術  
想定集  
第一卷目次

第一想定 陣地攻撃

(八王子附近)

研究項目

- 一 師團ノ開進ノ開進地
- 二 師團ノ開進掩護ノ爲メ前衛ノ陣地占領
- 三 主攻ノ方面ノ決定
- 四 攻撃ノ部署
- 五 攻撃ノ準備ノ位置
- 六 歩兵旅團、聯隊、大隊ノ展開法

第二想定 持久防禦

(八王子附近)

研究項目

- 一 防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 高地縁端持久防禦ノ配備
- 三 陣地占領命令
- 四 持久防禦ニ於ケル各種ノ戦闘法



第三想定 決戰防禦

(八王子附近)

研究項目

- 一 決戰防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 決戰防禦ノ爲メ陣地占領(後退配備)
- 三 攻勢移轉ノ時機

第四想定 持久防禦

(八王子附近)

研究項目

- 一 支隊長ノ決心
- 二 防禦ノ爲メ地形判斷
- 三 防禦戰配備
- 四 防禦戰開

第五想定 高地攻撃

(八王子附近)

研究項目

- 一 攻撃ノ爲メ地形判斷
- 二 攻撃配備
- 三 高地攻撃要領

第六想定 拂曉攻撃

(八王子附近)

研究項目

- 一 拂曉攻撃區處
- 二 拂曉攻撃準備ノ位置
- 三 拂曉攻撃ノ實施要領

第七想定 持久防禦

(八王子附近)

研究項目

- 一 支隊長ノ決心
- 二 騎兵ノ搜索法
- 三 支隊ノ陣地占領法

第八想定 要點攻撃

(八王子附近)

研究項目

- 一 攻撃ノ爲メ地形判斷
- 二 攻撃配備

第九想定 隘路前ノ防禦

(八王子附近)



研究項目……………三五

- 一 隘路前防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 隘路前持久防禦配備
- 三 行軍縱隊ヨリ防禦陣地ニ就ク方法

第十想定 山地防禦 (八王子西方附近)……………三六

研究項目……………三八

- 一 山地防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 支隊ノ陣地占領
- 三 山地防禦ニ於ケル諸設備

第十一想定 山地進出 (八王子西方附近)……………三九

研究項目……………四一

- 一 山地進出法
- 二 隘路前ニ於ケル戦闘

第十二想定 谷地攻撃 (八王子附近)……………四二

研究項目……………四三

一 谷地攻撃ノ爲メ地形判斷……………四四

二 谷地攻撃要領……………四四

三 谷地防禦……………四六

研究項目……………四六

第十三想定 谷地防禦 (八王子附近)……………四四

- 一 谷地防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 谷地防禦配備
- 三 谷地防禦要領

研究項目……………四七

第十四想定 遭遇戦(統一展開) (八王子附近)……………四七

- 一 遭遇戦ニ於ケル前衛司令官ノ決心
- 二 本隊ノ分進法
- 三 遭遇戦ノ展開法
- 四 遭遇戦ニ於ケル砲兵陣地
- 五 遭遇戦ニ於ケル命令下達

研究項目……………四九

第十五想定 遭遇戦(逐次展開) (八王子附近)……………五一



研究項目……………五五

- 一 遭遇戦ニ於ケル前衛司令官獨力攻撃ノ決心
- 二 前衛ノ攻撃部署
- 三 本隊ノ展開法
- 四 遭遇戦ニ於ケル砲兵陣地
- 五 遭遇戦ニ於ケル命令下達法

第十六想定 遭遇戦展開敵ニ後レタル場合

(八王子附近)……………五六

研究項目……………五八

- 一 展開敵ニ後レントシタル場合前衛司令官ノ決心
- 二 前衛ノ本隊展開掩護法
- 三 本隊ノ展開法

第十七想定 遭遇戦敵カ餘地ヲ存シテ展開

ヲ始メタル場合) (八王子附近)……………六〇

研究項目……………六一

第十八想定 退却戦闘 (八王子附近)……………六三

研究項目……………六五

- 一 退却處置ノ順序
- 二 收容隊及收容陣地
- 三 第一線部隊ノ退却順序
- 四 第一線部隊ノ收容法

第十九想定 收容 (八王子附近)……………六八

研究項目……………七〇

- 一 收容ニ關スル決心
- 二 收容隊ノ陣地占領

第二十想定 逆襲的收容 (八王子附近)……………七〇

研究項目……………七三

- 一 友軍敗退セル場合戰場ニ到着セシ増加隊長ノ決心



二 增加隊攻撃方法

第二十一想定 陣地攻撃後ノ追撃 (八王子附近)……………七四

研究項目……………七五

一 第一線部隊ノ追撃法

二 野砲兵ノ追撃前進

第二十二想定 遭遇戦後ノ追撃 (八王子附近)……………七七

研究項目……………七八

一 追撃ノ爲メ地形判断

二 各部隊ノ追撃法

第二十三想定 森林内ノ追撃 (八王子府中附近)……………八〇

研究項目……………八〇

森林内ノ追撃要領

第二十四想定 一部ヲ以テスル追撃 (八王子府中附近)……………八一

研究項目……………八三

一 一部ヲ以テスル追撃

第二十五想定 一時的後衛陣地 (拜島八王子附近)……………八三

研究項目……………八五

一 後衛陣地占領ノ爲メ地形判断

二 後衛ノ防禦配備

第二十六想定 長時間抵抗ヲ要スル後衛陣地 (拜島八王子附近)……………八六

(拜島八王子附近)……………八六

研究項目……………八九

一 後衛任務達成ノ爲メ地形判断

二 後衛陣地占領

第二十七想定 逆襲ヲ以テスル後衛ノ戦闘 (拜島八王子附近)……………九〇

(拜島八王子附近)……………九〇

研究項目……………九一

一 敵方正面並ニ側背ニ迫ラントスル場合後衛司令官ノ決心

二 逆襲ノ方法



第二十八想定

後衛陣地ノ攻撃

(拜島、八王子附近)

九二

研究項目

- 一 轉進ニ關スル決心
- 二 攻撃ノ爲メ地形判斷

第二十九想定

防禦及退却ノ決心問題

(拜島、上溝間)

九六

研究項目

- 一 近ク後方ニ後續部隊ヲ有スル防者ニ對スル支隊長ノ決心
- 二 強大ナル敵兩方面ニ現出セシ場合支隊長ノ決心
- 三 夜間退却ノ處置

第三十想定

敵陣地偵察及攻撃ノ爲メ地形判斷

(八王子、上溝間)

一〇三

研究項目

- 一 敵方何レノ線ヲ占領セルカ不明ナル場合ニ於ケル旅團長ノ決心
- 二 開進地及前衛陣地
- 三 前衛ノ偵察法
- 四 夕刻敵陣地分リタル時ノ決心

一〇七

五 敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

第三十一想定

一部ヲ以テスル迂回及戰鬪

後ノ宿營

(八王子、原町田、上溝間)

一〇九

研究項目

- 一 山地ヲ守備セル敵ニ對スル情況判斷
- 二 戰鬪後ノ宿營

第三十二想定

前進陣地

(八王子附近)

一一二

研究項目

- 一 任務達成ノ爲メ地形判斷
- 二 防禦配備

第三十三想定

側背脅威陣地攻撃、森林戰鬪

(扇町屋、八王子間)

一一六

研究項目

- 一 敵ノ側背ヲ脅威スル任務ヲ有スル支隊長ノ決心
- 二 決戰防禦ヲ企圖セル敵ニ對スル攻撃

一一九



三 森 内 林 ノ 遭 遇 戰

一三

第三十四想定 決戰防禦 (拜島、扇町屋附近) ..... 一三一

研究項目 ..... 一三三

決 戰 防 禦 配 備

第三十五想定 決戰時機ニ於ケル主力方面 ..... 一三三

ノ側面掩護 (扇町屋、所澤、八王子附近) ..... 一三三

研究項目 ..... 一三七

一 主力決戰時期ニ於ケル増援隊ノ前進方向

二 優勢ノ敵ヲ抑留スル爲メノ攻撃

第三十六想定 決戰時機ニ於ケル本戰參與 (扇町屋、所澤、八王子間) ..... 一三八

研究項目 ..... 一三〇

一 一部ノ敵ニ對スル手段

二 決戰時機ニ於ケル本戰參與

第三十七想定 敵ノ退路遮斷 (扇町屋、所澤、八王子間) ..... 一三二

研究項目 ..... 一三五

一 脅威部隊カ敵ノ退却ヲ知リタル場合ノ前進方向

二 敵ノ退却中ノ一部集合セルモノニ對スル決心

三 遭 遇 戰 ノ 指 導

第三十八想定 退却ノ側面掩護 (扇町屋、所澤、八王子間) ..... 一三七

研究項目 ..... 一三九

一 退却中ノ側面掩護部隊ノ決心

二 遭 遇 戰 ノ 指 導

第三十九想定 森林通過及森林防禦 (所澤附近) ..... 一四〇

研究項目 ..... 一四五

一 兵力不明ノ敵ニ對スル決心

二 展 開 ニ 關 スル 決 心

三 敵ト衝突ヲ豫期スル森林通過法

四 近ク後續部隊ヲ有スル敵ニ對スル決心

五 森 林 防 禦

第四十想定 森林ヲ利用スル敵ノ前進遲滯及敵力増加隊ヲ

一三



得ル場合ノ攻撃方向 所澤附近……………一四七

研究項目……………一五一

- 一 森林ヲ利用シテ敵ノ前進遲滯法
- 二 敵力近ク増加隊ヲ得ル場合ノ攻撃法
- 三 森林 攻 撃

第四十一想定 村落防禦 (所澤附近)……………一五二

研究項目……………一五四

村落防禦

第四十二想定 村落攻撃及追撃 (所澤附近)……………一五四

研究項目……………一五五

- 一 開 進 地
- 二 攻 撃 準 備 ノ 位 置
- 三 攻 撃 方 面
- 四 村 落 内 ノ 追 撃 法

第四十三想定 増加隊方新敵ニ對スル作戰

(扇町屋、飯能附近)……………一五七

一六四

研究項目……………一六四

- 一 増加隊方新ナル敵ニ對シ轉進
- 二 優勢ノ敵ニ對スル攻撃
- 三 攻撃ノ爲メ地形判 断
- 四 敵力後方ニ停止セシモノニ對スル攻撃
- 五 敵力漸次増加セシ場合ノ決心
- 六 主力カ退却ニ就キタル場合ノ決心

第四十四想定 前衛ヲ以テスル隘路進出掩護及之ニ増加法 (飯能、扇町屋附近)……………一六六

研究項目……………一七一

- 一 前衛ヲ以テスル隘路進出掩護
- 二 優勢ノ敵ニ對スル前衛司令官ノ決心
- 三 前 衛 陣 地 占 領 法
- 四 砲 兵 ヲ 以 テ ス ル 急 援
- 五 前衛ヲ攻撃シツ、アル敵ニ對スル攻撃

一五



第四十五想定 前進陣地ヲ利用スル持久防禦

一六

(扇町屋附近)……………一七三

研究項目

- 一 前進陣地占領ニ關スル地形判斷……………一七五
- 二 陣 地 占 領……………

第四十六想定 前進陣地ヲ占領セル敵ニ對ス

(扇町屋附近)……………一七七

研究項目

- 一 兵力不明ノ敵ニ對スル攻撃ノ決心……………一八一
- 二 敵方陣地ヲ占領シ始メタルコトヲ知り主力ノ開進……………
- 三 前進陣地ヲ占領セル敵ニ對スル攻撃……………

第四十七想定 準備陣 (扇町屋附近)

……………一八二

研究項目

- 一 準備……………一八四
- 二 攻勢的 前進 陣地ノ 占領……………

第四十八想定 二方面ノ敵ニ對スル作戰

(所澤、川越、扇町屋間)……………一八五

研究項目

- 一 二方面ニ在ル敵ニ對スル作戰……………一八九
- 二 一方ノ敵カ停止セシ場合ノ處置……………
- 三 本 戦 參 與……………

第四十九想定 隘路前決戰防禦 (飯能、扇町屋附近)

……………一九一

研究項目

- 一 隘路前ノ防禦ニ關スル決心……………一九三
- 二 防 禦 配 備……………

第五十想定 隘路前ヲ占領セル敵ニ對スル

(飯能、扇町屋附近)……………一九五

攻撃

研究項目

- 隘路前ヲ占領セル敵ヲ攻撃スル爲メ地形判斷……………一九六

第五十一想定 逆襲ノ機ヲ利用スル退却法

一七



研究項目

戰況困難ナル場合ニ於ケル退却法

(扇町屋附近)

一九七  
二〇〇

第五十二想定

錯雑地ニ於ケル追撃 (扇町屋附近)

二〇一

研究項目

錯雑地ニ於ケル追撃ノ爲メ地形判断

第五十三想定

住民地ヲ占領スル持久防禦

(川越附近)

二〇三

研究項目

防禦ニ關スル決心

二〇六

住民地防禦

第五十四想定

住民地ヲ占領セル敵ニ對ス

(川越附近)

二〇七

研究項目

拂曉攻撃

二一〇

- 一 拂曉攻撃ニ關スル決心
- 二 拂曉攻撃區處

(川越附近)

二一一

第五十五想定

決戰防禦

(川越附近)

二一四

研究項目

一 決戰防禦ニ關スル決心

二 攻勢移轉ノ時機

第五十六想定

決戰防禦及退却

(川越附近)

二一六

研究項目

一 決戰防禦ニ關スル決心

二 退却ニ關スル決心

三 退却ノ爲メ地形判断

四 收容隊ノ陣地占領

(川越附近)

二二二

第五十七想定

追撃

(川越附近)

二二四

研究項目

追撃ノ爲メ地形判断



第五十八想定 陣地攻撃

(川越附近)……………二三五

研究項目……………

二三〇

- 一 陣地不明ナル敵ニ對シ本隊ノ開進及前衛ノ敵陣地偵察
- 二 開進地ノ推進
- 三 攻撃時ノ機
- 四 攻撃ノ爲メ地形判斷

第五十九想定 陣地隱匿ノ前進陣地

(川越附近)……………二三三

研究項目……………

二三五

- 一 錯雜地ニ於ケル持久防禦
- 二 防禦配備

第六十想定 渡河掩護

(川越附近)……………二三六

研究項目……………

二三九

- 一 渡河掩護ニ關スル決心
- 二 防禦配備

第六十一想定 遭遇戰

(川越南方附近)……………二四一

研究項目……………

二四四

- 一 行營位置要圖
- 二 前衛司令官ノ決心
- 三 前衛ノ配備
- 四 本隊ノ展開

第六十二想定 側面陣地

(上溝川尻附近)……………二四七

研究項目……………

二五〇

- 一 前進目標ノ選定
- 二 防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

第六十三想定 一部ヲ以テスル夜襲

(橋本川尻附近)……………二五二

研究項目……………

二五六

- 一 前進ニ關スル決心
- 二 攻撃時機ニ關スル決心
- 三 攻撃ノ爲メ地形判斷

第六十四想定 遭遇戰

(上溝附近)……………二五八



研究項目

- 一 一側ニ展開スル遭遇戦
- 二 本戦參與ト追撃ニ關スル決心

二六〇

第六十五想定

脅威決戦防禦

(橋本附近)

二六二

研究項目

- 一 主力ニ合スヘキヤ否ヤノ情況判斷
- 二 防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

二六五

第六十六想定

敵ノ側背脅威及退路遮斷

(原町田、當麻附近)

二六七

研究項目

- 一 敵ノ側背直接脅威ニ關スル決心
- 二 敵主力ノ退却ヲ知リタルトキノ決心
- 三 攻撃ノ爲メ地形判斷

二七〇

第六十七想定

本軍直接協力及退却ノ翼側

掩護

(當麻、原町田附近)

二七二

研究項目

- 一 本戦直接協力ニ關スル決心
- 二 本軍左側掩護ニ關スル決心
- 三 防禦ノ爲メ地形判斷

二七五

第六十八想定

宿營前哨及側衛

(長津田、用田附近)

二七七

研究項目

- 一 宿營、前哨配備
- 二 情況判斷處
- 三 前進區處

二八〇

第六十九想定

持久防禦

(厚木、長津田附近)

二八一

研究項目

- 一 優勢ノ敵ニ對シ攻撃ノ決心
- 二 持久防禦ニ於ケル陣地占領

二八四

第七十想定

準備陣

(厚木、長津田、用田附近)

二八六

二二三



研究項目

- 一 準備陣ニ關スル決心
- 二 敵ノ迂回ニ對スル決心

二四

第七十一想定

退却スル敵ニ對スル作戰

(厚木、用田、長津田附近)……………二九一

研究項目

- 一 退却スル敵ノ翼側ニ迫ル決心
- 二 敵ノ退路ヲ遮斷スル爲メ渡河點ノ選定

二九四

第七十二想定

決戰防禦

(厚木、用田、藤澤附近)……………二九六

研究項目

- 一 旅團ノ前進區處
- 二 決戰防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

三〇〇

第七十三想定

半遭遇戰ニ於ケル陣地攻撃

(用田附近)……………三〇二

研究項目

- 一 轉進ニ關スル決心
- 二 遭遇戰ニ關スル決心
- 三 攻撃ノ爲メ地形判斷

三〇七

第七十四想定

遭遇戰

(藤澤、用田附近)……………三〇九

研究項目

- 一 優勢ノ敵ヲ抑留スル爲メノ決心
- 二 集合中ノ敵ニ對スル攻撃ノ決心
- 三 遭遇戰ノ展開

三一四

第七十五想定

増援中ノ部隊我ヨリ弱勢ノ

新敵ニ對スル作戰(用田、藤澤附近)……………三一六

研究項目

- 一 新來ノ敵本軍方面ニ前進スルヤ否ヤ不明ナル場合ノ情況判斷
- 二 主力ヲ以テ新來ノ敵ヲ攻撃シ他ヲ本戰ニ參與セシムル決心
- 三 遭遇戰ノ攻撃展開

三二〇



第七十六想定 師團ノ渡河掩護ノ爲メ持久

防禦

(長津田、厚木、當麻附近)……………三三一

研究項目……………三二四

- 一 河川附近ニテ敵ト衝突ヲ惹起スル場合支隊長ノ決心
- 二 持久防禦配備

第七十七想定 陣地攻撃

(伊勢原、長津田、當麻間)……………三二六

研究項目……………三三〇

- 一 兵力不明ノ敵ニ對スル決心及處置
- 二 攻撃配備

第七十八想定 高地專守の防禦

(上溝、厚木附近)……………三三三

研究項目……………三三五

- 一 河川ノ沿岸ヲ占領シテ本軍ノ進出ヲ待ツ決心
- 二 高地上ニ於ケル專守の持久防禦配備

第七十九想定 騎兵徒歩戰及前衛ノ師團渡

河掩護法

(厚木附近)……………三三八

研究項目……………三四〇

- 一 騎兵ノ徒歩戰
- 二 前衛ノ師團渡河掩護
- 三 前衛ノ陣地占領
- 四 渡河シテノ師團作戰指導法

第八十想定 前衛ノ獨力攻撃決心及陣地

占領 (厚木、伊勢原附近)……………三四三

研究項目……………三四六

- 一 前衛ノ獨力攻撃ニ關スル決心
- 二 前衛ノ陣地占領ニ關スル決心
- 三 前衛ノ陣地占領

第八十一想定 高地上ノ防禦

(厚木附近)……………三四八

研究項目……………三五一

- 一 陣地占領ニ關スル支隊長ノ決心



二 防 禦 配 備

第八十二想定 退却戦闘

(厚木、上溝附近)……………三五三

研究項目

- 一 退却處置ノ順序
- 二 收容隊及收容陣地
- 三 第一線部隊ノ退却法
- 四 行進目標

三五五

第八十三想定 追撃戦闘

(厚木、上溝附近)……………三五七

研究項目

- 一 第一線部隊ノ追撃
- 二 旅團長ノ追撃ノ爲メノ處置

三五九

第八十四想定 持久防禦

(厚木、當麻附近)……………三六〇

研究項目

- 一 持久防禦ノ爲メ陣地ノ選定
- 二 高地防禦配備

三六三

第八十五想定 高地及谷地攻撃

(厚木、當麻附近)……………三六五

研究項目

高地攻撃ノ爲メ地形判斷

三六六

第八十六想定 河川防禦

(厚木、上溝間)……………三六八

研究項目

河川防禦配備

三七一

第八十七想定 河川攻撃(强行渡河)

(上溝、當麻附近)……………三七三

研究項目

- 一 河川偵察ニ關スル決心
- 二 渡河時期
- 三 渡河計畫

三七六

第八十八想定 後衛陣地

(厚木、會屋附近)……………三七八

研究項目

數時間ノ抵抗ヲ要スル後衛陣地占領

三八〇



第八十九想定 後衛陣地ニ對スル迂回

(秦野、伊勢原附近)……………三八二

研究項目……………三八三

敵ノ後衛陣地ニ對スル地形判斷

第九十想定 據點式陣地占領 (秦野、松田總領附近)……………三八四

研究項目……………三八七

一 防禦ニ關スル梯團長ノ決心  
二 據點式陣地占領法

第九十一想定 稍堅固ナル陣地攻撃

(秦野、松田總領附近)……………三九〇

研究項目……………三九三

一 敵ノ前進部隊驅逐ニ關スル決心  
二 師團ノ攻撃時期  
三 攻撃準備ノ位置  
四 攻撃部署

第九十二想定 追

野砲兵ノ陣地 (秦野、松田總領關本附近)……………三九五

研究項目……………三九六

一 追撃ノ爲メ地形判斷  
二 追撃處置

第九十三想定 退却戰鬪 (秦野、松田總領關本附近)……………三九七

研究項目……………三九九

困難ナル地形ニ於ケル退却戰鬪

第九十四想定 高地ヲ占領スル持久防禦

(松田總領附近)……………四〇一

研究項目……………四〇三

一 陣地線ノ決定  
二 兩翼ノ依托點  
三 高地ノ占領法



四 側 防 砲 兵 陣 地

第九十五想定 拂曉攻撃

(關本、松田總領附近)……四〇五

研究項目

四〇八

- 一 拂曉攻撃準備位置
- 二 攻撃部隊署
- 三 砲兵陣地

第九十六想定 決戰防禦

(松田總領、小田原附近)……四一〇

研究項目

四一三

- 一 持久防禦ニ關スル決心
- 二 決戰防禦ニ關スル決心
- 三 決戰防禦準備
- 四 出撃時機

第九十七想定 遭遇戰(統一展開)

(松田總領、小田原附近)……四一六

研究項目

四一八

- 一 遭遇戰ニ於ケル前衛司令官ノ決心

二 前衛並ニ本隊ノ展開

第九十八想定 持久防禦(前進陣地占領)

(小田原附近)……四二一

研究項目

四二三

- 一 陣地占領ノ爲メ地形判斷
- 二 防禦準備

第九十九想定 威力偵察及陣地攻撃

(松田總領、小田原附近)……四二五

研究項目

四三〇

- 一 二方面ニ進出シ得ル後續部隊ヲ有スル敵力陣地ヲ占領セルモノニ對スル決心
- 二 師團ノ開進ニ關スル決心
- 三 開進要圖
- 四 敵陣地判斷
- 五 威力偵察ニ關スル決心
- 六 威力偵察ノ方法
- 七 師團ノ攻撃展開



第百想定 騎兵旅團ノ搜索計畫 (二十萬分一靜岡、東京間)……………四三五

研究項目……………四三七

- 一 騎兵旅團ノ前進目標
- 二 搜索隊ノ派遣
- 三 將校斥候ノ用法

原則適用 想定集第一卷目次 終

原則適用 想定集第一卷

第一想定

(八王子附近)

- 一 駿河灣ニ上陸セシ西軍ハ相模川河孟ニ進入中ニシテ之ニ對スル東軍(三師團ヨリ成ル)ハ東京附近ニ集中中ナリ
- 二 東軍ニ策應シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ高崎方向ヨリ南進セシ獨立第十三師團ハ二縱隊トナリ川越―所澤道及高萩―扇町屋―八王子道ヲ前進シ十月一日午前九時其左縱隊步兵第二十六旅團步兵第五十聯隊(欠騎兵二分隊、野砲兵第十九聯隊第一大隊、工兵一小隊)步兵ノ先頭ヲ以テ所澤南方野口ニ、右縱隊(師團ノ主力)前衛司令官少將



某步兵第十六聯隊、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第十九聯隊第二大隊、工兵第十三大隊(一中隊欠)步兵ノ先頭ヲ以テ箱根崎ニ達ス師團長ハ右縱隊本隊ノ先頭ニ在リテ此時迄ニ左ノコトヲ知ル

一 兵力未詳ノ敵ハ本一日早朝八王寺附近ニ達シ拜島對岸ヨリ日野附近ニ亘ル間ヲ占領中ナリ

二 軍ハ本一日高座川ノ線ニ前進ス

三 多摩川ハ概ネ徒涉ヲ許ス

四 多摩川左岸ノ森林ハ概シテ部隊ノ通過ヲ許ス

是ニ於テ師團長ハ多摩川右岸ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

研究項目

一 師團ノ開進地

- 二 師團ノ開進掩護ノ爲メ前衛ノ陣地占領
- 三 主攻撃方面ノ決定
- 四 攻撃部署
- 五 攻撃準備ノ位置
- 六 歩兵旅團、聯隊、大隊ノ展開法

說明

開進地 拜島對岸ハ一帶ニ步兵ノ攀登ヲ許サナイ斷崖デアラカラ攻、防兩者共日野臺方面ニ主力ヲ用ヒルノガ至當デアアル隨ツテ師團ノ開進地ハ其方面ニ近クテ且從來ノ行進區處並ニ將來ノ展開ニ便利ナヤウニ主力ハ西部砂川村南側附近、左縱隊ハ北立川、立川停車場東北方約千五百米附近ニ開進スルノガ自然デアアル

前衛ノ陣地 ハ敵ニ稍、近イヤウデアアルガ充分ナル抵抗力ヲ有スルコト、蔽シテ占領シ得ルコト、多摩川ノ障礙ノ關係上此場合大神村附近カラ立



川村附近ニ亘ル多摩川左岸高地端ガ適當デア  
 主●攻●擊●方●面● ハ北方カラ前進シタル師團トシテハ日野西方東光寺ノ突角ニ  
 向●フ●ノ●ガ●至●當●デ●アル●  
 攻●擊●部●署● ハ先ヅ鐵道線ヲ境界トシテ右翼方面ニ完全ナル旅團、左翼方面ニ  
 四●若●ク●ハ●三●大●隊●ヲ●用●ヒ●砲●兵●陣●地●ハ●中●神●村●附●近●カ●ラ●立●川●附●近●ニ●亘●ル●臺●上●ニ  
 何●處●デ●モ●置●ケ●ル●カ●ラ●主●攻●擊●方●面●ヲ●充●分●ニ●援●助●シ●得●ル●コ●ト●及●敵●ノ●出●擊●ニ●對●  
 ス●ル●顧●慮●ヲ●以●テ●適●當●ニ●配●當●ス●レ●バ●善●イ●  
 攻●擊●準●備●ノ●位●置● ハ此場合前衛陣地ノ線デア  
 此●地●形●ハ●攻●擊●準●備●ニ●最●モ●好●  
 都●合●デ●アル●若●シ●前●衛●陣●地●ヨ●リ●モ●前●方●ニ●於●テ●而●カ●モ●敵●砲●火●ノ●損●害●ヲ●多●少●受●  
 ケ●ナ●ガ●ラ●準●備●ヲ●セ●ネ●バ●ナ●ラ●ヌ●時●ハ●砲●兵●陣●地●設●備●ノ●爲●メ●困●難●ヲ●生●ズ●ル●コ●ト●  
 ガ●屢●アル●  
 展●開●法● 以上ノ項目ヲ研究シタル後次ニ兩翼隊ノ何レカニ就イテ旅團、聯隊、  
 大●隊●ノ●展●開●法●展●開●命●令●ヲ●下●ス●ベ●キ●位●置●展●開●命●令●等●ヲ●逐●次●研●究●シ●爾●後●歩●兵●  
 ノ●攻●擊●前●進●ニ●伴●フ●各●兵●種●ノ●協●同●動●作●モ●研●究●ス●ル●コ●ト●ガ●出●來●ル●

其他砲兵ノ陣地設備、騎兵ノ翼ノ警戒及搜索法、工兵ノ河川偵察、突擊援助等  
 モ●研●究●ガ●出●來●ル●  
 尙●本●想●定●ニ●於●テ●師●團●ノ●到●著●時●刻●ヲ●若●干●遲●ク●シ●彼●我●ノ●本●軍●ガ●本●日●中●ニ●ハ●接●  
 觸●ス●ル●ヤ●ウ●ナ●情●況●デ●ナイ●コ●ト●ヲ●示●ス●ナ●ラ●バ●拂●曉●攻●擊●ノ●研●究●モ●出●來●ル●  
 拂●曉●攻●擊●ノ●準●備●位●置● トシテハ多摩川直接左岸ノ堤防迄接近スルコトガ出  
 來●ル●  
 以上ハ概要ヲ示シタダケデア  
 陣●地●ノ●狀●態●ヲ●示●シ●研●究●者●ト●シ●テ●ハ●之●ヲ●頭●ニ●畫●キ●尙●各●研●究●項●目●ハ●操●典●ノ●條●項●  
 ト●對●照●シ●テ●研●究●ス●ル●コ●ト●ガ●必●要●デア●ル●

第二想定

(八王子附近)

一 東軍ハ東京附近ニ集中中ニシテ駿河灣ニ上陸シタル西  
 軍(三師團半)ハ逐次相模川左岸地區ニ集合中ナリ



二 高崎方向ヨリ南下スル敵ニ對シ八王子附近ヲ占領シ西軍ノ左側ヲ掩護スヘキ任務ヲ有スル西軍混成第一旅團ハ厚木―上溝道ヲ北進シ九月三十日夜八王子附近ニ達シ約一師團ノ敵ハ二縱隊トナリテ南進シ川越及高萩以北ニ宿營セシコトヲ知り十月一日早朝ヨリ多摩川右岸ノ陣地ヲ占領スルニ決ス

三 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部  
師團輜重ノ約半部

研究項目

- 一 防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 高地縁端持久防禦ノ配備
- 三 陣地占領命令
- 四 持久防禦ニ於ケル各兵種ノ戰鬪法

說明

多摩川右岸占領ノ爲メ地形判斷ハ此情況ニ於テハ第一想定ニ於テ述ベタ通り一部ヲ以テ拜島對岸ノ監視ニ任ジ主力ハ日野臺ヲ堅固ニ占領スルノデアアル  
防禦配備ハ甲州街道ヲ境界トシテ其左翼ニ主力ヲ用ヒ特ニ東光寺突角ヲ



堅固ニ占領シ此突角ヲ側防シ得ルヤウ其兩側凹角モ一部ヲ以テ占領シ砲兵ノ主力ハ日野驛西方臺上ニ於テ中神村カラ立川村ニ亘ル間ヲ射撃シ得ルヤウ一部ハ日野驛南方高地上ニ於テ其以東ヲ射撃スルコトガ出來尙久保山(東光寺西方約二千米)方面ヲ射撃シ得ルヤウニ東光寺西南方約八百米臺上ニ豫備陣地ヲ構築シ置ク

豫備隊ハ粟須新田東北側附近、衛生隊ハ粟須新田東端附近、騎兵ノ一部ハ上流、主力ハ右翼方面ノ警戒ニ任ズル

尙敵ノ一部ノ迂回ヲ顧慮シ拜島西北方高月及其西方附近ヲ一部ヲ以テ占領サセル必要ガアル

陣地占領命令 ハ以上ノ配備ヲ命令文ニ表ハセバ善イノデアアル但其命令ノ記述法ハ一定スルコトガ出來ナイカ要ハ當然各部隊長ガ爲スベキコトハ命ズル必要ナク指揮官ガ特ニ企望スル要求ヲ明確ニ述ベルコトガ緊要デアアル

持久防禦ニ於ケル戰鬪法 ハ此場合第一想定ニ依ツテ敵情ヲ逐次畫イテ各

級指揮官ノ處置、射撃開始時機、砲兵ノ射撃目標ノ選定等操典ノ防禦戰鬪ノ部ニ記述シテアル原則ヲ應用スルノデアアル

第三想定

(八王子附近)

- 一 東西兩軍ハ大山街道以南ノ地區ヲ對進シ上鶴間以南高座川ノ線ヲ挾ンテ決戰ヲ準備ス
- 二 大宮方向ノ敵ニ對シ軍ノ左側ヲ掩護シ爲シ得レハ之ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル西軍第三師團(步兵一聯隊、野砲兵一大隊)ハ厚木―八王子―日野道ヲ前進シ十月三日午前十時其歩兵先頭ヲ以テ粟須新田東端ニ達セシトキ師團長ハ本隊ノ先頭ニ在リテ約一師團ノ敵ハ野火止方向ヨリ前進中ニシテ午前九時二十分其先頭大宮ニ達シ續イテ西進中ナルコトヲ知り日野臺附近ヲ占領シテ決戰防禦ヲ爲ス



ニ決ス

注意 多摩川ハ概シテ徒渉スルヲ得、日野臺上ノ森林ハ  
部隊ノ通過ヲ許ス

研究項目

- 一 決戦防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 決戦防禦ノ爲メ陣地占領後退配備
- 三 攻勢移轉ノ時機

説明

地形判斷 目下主力方面ハ決戦ノ準備中デ刻一刻ヲ争フト云フ時期デナイ  
カラ野火止方向カラ前進中ノ敵ハ恐ラク我師團ヲ擊攘シタ後本戦ニ參與  
シヨウト企圖スルデアラウ随ツテ我カラ優勢ノ敵ニ對シ多摩川ヲ超エテ

進出スルハ危険デアル是ニ於テ師團長ハ決戦防禦ノ決心ヲ取ツタノデア  
ル、扱テ日野臺附近ニ於テ決戦防禦ヲ爲スニハ日野西南方高地縁端ヲ守勢  
地帯トシ淺川河谷ヨリ出撃スルノト後退配備トノ大體ニ於テ二案アル前  
者ハ攻勢地帯狭小デ到底一旅團ノ兵力ヲモ展開スルコトヲ許サナイ夫故  
彼我ノ兵力上此場合後退配備ノ方ガ有利デアル殊ニ敵ハ明拂曉ヲ待ツテ  
攻撃スルカモ知レナイ然ルトキハ縁端配備ハ一層不利デアル

防禦配備 後退配備ニ於テ左翼ノ據點ヲ久保山ニ取ルカ北大谷附近ニ止メ  
ルカハ研究ヲ要スルノデ前者ハ粟須新田附近ニ於テ決戦ヲスル爲メニハ  
稍進出ニ失スル不利ハアルガ同高地ヲ敵ノ爲メ占領セラレ其砲兵ヲ置カ  
レタナラバ我出撃方面ニ大ナル不利ヲ與ヘルカラ同高地ヲ占領スルヲ適  
當トスル右翼方面ハ西長沼村東南方高地上ニ砲兵ノ一部ヲ置ケバ敵ノ淺  
川河谷ヨリ進入スルモノニ對シ斜射ヲ加フルコトガ出來且粟須新田附近  
ニ於テ決戦ノ際ニモ高地上ヨリ瞰下シテ有效ニ使用スルコトガ出來ルカ  
ラ有利デアアル步兵ハ其砲兵掩護ノ意味ニ於テ餘リ進出サセズ一小部隊ヲ



以テ平山南側高地ヲ占領サセルノヲ可トスル  
其他歩兵ノ一部ヲ以テ日野臺縁端ヲ占領シ主力ハ大和田東南側地區ニ集  
結スル

砲兵ノ主力ハ大和田北方約八百米高地附近ヲ占領スル  
攻勢移轉ノ時機 敵ガ日野臺縁端ノ我一部ヲ驅逐シテ臺上ニ登リ未ダ其砲  
兵ヲ臺上ニ招致スルコトノ出來ナイ時機ニ出撃シ我砲兵ノ有力ナル援助  
ノ下ニ粟須新田東側地區ニ於テ決戦ヲ豫期シテ突進スルノデアアル此臺上  
ノ幅員兵力ノ展開ヲ許ス所約二千米デアツテ敵ハ一師團ノ兵力ヲ以テ居  
ツテモ地幅ノ關係上有利ニ展開シ得ナイ不利ニ乗ジ攻撃シヨウト云フ覺  
悟ヲ以テ出撃スルノデアアル

第四想定

(八王子附近)

一 東軍ハ東京附近ニ集合中ニシテ西軍ハ甲府方面ヨリ東  
進中ナリ

二 西軍第一師團ノ八王子附近ニ進出ヲ容易ナラシムヘキ  
任務ヲ以テ先遣セラレタル西軍支隊ハ甲州街道ヲ東進シ  
十月三日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ八王子西端ニ達セシ  
トキ支隊長ハ次ノコトヲ知ル

一 兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ今三日午前七時角筈ヲ發シ  
甲州街道ヲ西進セリ

二 師團ハ明日午前中ニ八王子附近ニ到著スル筈  
三 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第四十九聯隊及同第一聯隊第一大隊  
騎兵第一中隊(一小隊欠)  
野砲兵第一大隊(第三中隊欠)



工兵第一中隊  
衛生隊第一半部

研究項目

- 一 支隊長ノ決心
- 二 防禦ノ爲メ地形判斷
- 三 防禦配備
- 四 防禦戰闘

説明

支隊長ノ決心 午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心トシテハ敵ハ兵力未詳デア  
ルカラ攻撃ノ目的ヲ以テ前進スル案ト日野臺附近ニ於テ決戦防禦持久防  
禦準備陣ノ三案ト八王子附近ヲ占領スル案トアルガ師團ノ進出ヲ容易ニ  
スル爲メニハ日野臺附近ヲ占領スルヲ要シ同地ヲ確實ニ占領セバ餘程優

勢ノ敵ニ對シテモ師團ノ來著迄維持ガ出來ル見込ガアル夫故此際多摩川  
ヲ超エテ前進スルハ善クナイ又日野臺ニ於テ決戦防禦或ハ準備陣ヲ取ル  
モ善クナイ優勢ノ敵ガ來テモ支ヘルコトガ出來ルヤウ堅固ニ占領シテ根  
據ヲ固メタ後乘ズベキ機會ガアレバ何時デモ之ヲ捉フレバ善イノデア  
爾隨ツテ次ノヤウニ決心スル

支隊長ノ決心  
日野臺附近ヲ堅固ニ占領シ師團ノ來著ヲ待タントス

防禦ノ爲メ地形判斷 此場合ノ地形判斷ハ第二想定ト異ツテ敵ガ東方カラ  
來ルノデアアル夫故敵ノ主攻撃ハ日野萬願寺方面カラ日野南方突角ニ向フ  
モノト判斷スルノガ至當デアアル尙此場合ハ特ニ淺川對岸南平南方高地ヲ  
一部ヲ以テ占領スル必要ガアル

防禦配備 前述ノ判斷ニ基キ日野南方高地ヲ聯隊長ノ指揮スル二大隊ヲ用  
ヒ其中敵ノ重點ノ向フ處ニハ完全ナル大隊ヲ置キ東光寺ノ高地ニハ大隊  
長ノ指揮スル二中隊、別ニ一中隊ヲ以テ南平南方高地ヲ占領サセ其他ハ粟  
須新田附近ニ在ッテ豫備隊トナリ騎兵ノ一部ハ拜島方面主力ハ淺川河谷



ニ在ツテ右翼方面ノ警戒ニ任ズル  
砲兵陣地ニ中隊分ヲ日野南方高地上ニ設備シ其他豫備陣地ヲ粟須新田東  
方約千五百米ニ於テ淺川河谷ニ對スルヤウ更ニ他ノ一中隊分ヲ日野驛西  
方四角部ニ於テ中神村方面ニ對シ構築シテ置ク  
防禦戰鬪 情況ノ與ヘ方ニ依ツテ敵ガ接近シテ威力搜索ヲ爲スモノニ對シ  
或ハ明拂曉ノ攻撃ニ對シ各指揮官ノ處置或ハ綠端ニ於テ一部ノ逆襲翌日  
師團來著シテカラノ進出方向等ヲモ研究スルコトガ出來ル

第五想定

(八王子附近)

- 一 東軍ハ東京附近ニ集合中ニシテ西軍ハ甲府方向ヨリ東進中ナリ
- 二 甲府方向ヨリ前進スル敵ヲ成ルヘク遠距離ニ支ヘ以テ東京附近ニ於ケル軍ノ集合ヲ掩護スヘキ任務ヲ有スル東

- 軍支隊ハ甲州街道ヲ西進シ十月三日午後一時其歩兵先頭ヲ以テ谷保村東端ニ達ス
- 支隊長ハ此時迄ニ次ノコトヲ知り直ニ前面ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス
- 一 砲約八門ヲ有スル敵ノ一縱隊ハ本三日午前十一時日野臺附近ニ達シ該地ヲ占領セリ
  - 二 軍ノ集合ハ今ヨリ約三日ヲ要ス
  - 三 多摩川ハ徒涉容易ナリ
- 支隊ノ編組左ノ如シ
- 長 少將某
- 歩兵第二十七旅團
- 騎兵第一中隊







ヲ挾ンテ敵ト相對シ決戰ヲ準備シツツ在リ

二 西軍司令官ハ敵ノ一縱隊熊谷方向ヨリ南進中ナルノ報

ニ接シ市ヶ尾附近ニ在リシ混成第一旅團ヲ八王子方向ニ

派遣シ該敵ヲ擊破セシム

三 旅團ハ小野路―八王子道ヲ前進シ其前衛ハ十月四日午

後二時西長沼南方ニ於テ敵ノ小部隊ヲ驅逐シテ該地附近

ノ高地ヲ占領セリ

四 同時旅團長ハ左ノコトヲ知ル

敵ハ本四日午前九時頃栗須新田南方高地端ニ達シ陣地

ヲ構成セルモノノ如シ

五 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

問 題

十月四日午後二時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ明拂曉敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ下柚木村附近ニ開進  
シ敵情及地形ヲ偵察セントス

情 況







一 長野地方ヨリ東進スル敵ニ對シ東京方面ヨリ中山道及川越—藤岡道ヲ前進セシ東軍(二師團)ハ優勢ナル敵ノ壓迫ヲ受ケ今朝來決戰ヲ避ケ熊谷附近ヨリ板橋方向ニ退却ヲ始メタリ

二 甲州街道上府中附近ニ在リシ東軍ノ一支隊ハ軍司令官ヨリ次ノ要旨ノ訓令ヲ受ク

一 諸兵種ヨリ成ル敵ノ一縱隊ハ兩三日甲府ニ到著シ續イテ東進セリト云フ

二 軍ハ板橋附近ニ退却シ千葉方面ヨリノ増加團隊ノ來著ヲ待チ攻勢ニ轉セントス

三 支隊ハ該敵ニ對シ軍ノ左側ヲ掩護スヘシ

三 支隊ハ十月五日午前九時ニハ運動ヲ開始シ得ル状態ニ

在リ

四 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第三聯隊及同第五十七聯隊第一大隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

十月五日午前八時ニ於ケル支隊長ノ決心及處置ノ大要

決 心



支隊ハ一部ヲ以テ青梅西方ノ隘路ヲ占領シ主力ヲ以テ小佛峠附近ノ諸山徑ヲ占領スル目的ヲ以テ該方面ニ前進セントス

二六

處 置

- 一 歩兵第五十七聯隊第一大隊、騎兵一小隊、工兵一小隊ヲ以テ青梅西方ノ隘路ヲ占領セシム
- 二 他ハ甲州街道ヲ小佛峠方面ニ前進

第二問題

支隊騎兵ノ用法

答 解

青梅及甲州街道兩方面ニハ遠ク將校斥候ヲ派遣シ其中間地區ハ下士斥候ヲ以テ監視ニ任ス

情 況

支隊主力ノ歩兵先頭正午栗須新田東端ニ達シ同時支隊長ハ左ノ報告ニ接ス

強大ナル敵ノ一縱隊ハ甲州街道ヲ東進中ニシテ正午ニハ上柵田西南方約二吉米ニ達スル距離ニ在リ

第三問題

十月五日正午ニ於ケル支隊長ノ決心

決 心

二七



支隊ハ大和田附近ニ陣地ヲ占領セントス

第四問題

大和田附近支隊陣地占領要圖

研究項目

- 一 支隊長ノ決心
- 二 騎兵ノ搜索法
- 三 支隊ノ陣地占領法

說明

最初遠クニ目標ヲ取ツタノハ甲府方面ノ敵ノ前進不明デアアル故出來ルコトナラ小佛峠附近ヲ占領セバ該方面ノ敵ヲ拒止シ軍ヲシテ左側ニ顧慮ヲ要シナイヤウニ出來ルカラデアアル然ルニ後ノ情況ニ於テ其目的ヲ達スルコトモ

出來ズ又隘路口ニ於テ叩キ得ル見込モナイカラ陣地占領ニ決シタノデアアル陣地占領 八王子北方一七一六高地ハ大和田附近陣地ノ要點デアアル之ヲ歩兵一大隊ト機關銃一小隊ヲ以テ確實ニ占領スル必要ガアル其他ハ上大和田及大和田附近並ニ下大和田東南方突角ヲ一部ヲ以テ占領シ一大隊ヲ豫備トシテ粟須新田西側附近ニ置ク  
砲兵ハ北大谷西北側高地ニ一中隊、大和田北方凹角部ニ西方及南方ニ對シ二箇ノ陣地ヲ構築シ何レヘデモ進入ノ出來ルヤウニスル  
敵ノ主攻撃方面ハ本日ナラバ右翼方面、明拂曉ナラバ左翼方面ニ向フデアラウ

第八想定

(八王子附近)

- 一 東軍ハ東京方面ヨリ西北方ニ前進中ニシテ西軍ハ長野地方ヨリ高崎方向ニ前進中ナリ
- 二 西軍主力ニ策應シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以



テ甲州街道ヲ東進セシ西軍混成第一旅團ハ敵騎ノ一部ヲ  
驅逐シツツ十月五日午後一時其步兵先頭ヲ以テ上柵田村  
東北方約二吉米新地西南端ニ達セシトキ府中方向ヨリ前  
進セシ兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ正午頃大和田附近ニ達シ  
八王子北方ヨリ大和田附近ニ亘リ陣地ヲ占領シツツアル  
コト及淺川ハ徒涉容易ナルコトヲ知り直ニ此敵ヲ攻撃ス  
ルニ決ス

三

混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊  
衛生隊半部  
師團輜重ノ約半部

研究項目

- 一 攻撃ノ爲メ地形判斷
- 二 攻撃配備

說明

地形判斷 八王子北方附近カラ大和田附近ニ亘リ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ  
晝間八王子南側地區カラ敵ノ右翼ニ向フ攻撃ハ八王子東北方高地附近ノ  
敵砲火ノ下ニ於テ頗ル困難デアアル敵ノ右翼モ隨分堅固デアアルガ八王子西  
北方地區ハ兵力ノ展開ヲ許シ一部ヲ其北方高地上ヨリ進メタナラバ敵ノ  
左翼ニ向フモノニ比シ比較的容易デアアル而シテ八王子北方高地ハ所謂敵



陣地ノ要點デアツテ之ヲ奪取セバ敵陣地ニ致命傷ヲ與ヘルコトガ出來ル  
攻撃配備 砲兵ノ主力ヲ八王子南方小比企臺上ニ一部ヲ直接主攻撃方面ニ  
協力スル爲メ八王子西北側ニ置キ歩兵ハ聯隊長ノ指揮スル一大隊半ヲ八  
王子東側方面カラ大和田以南ノ敵ニ向ハセ他ノ一聯隊ヲ以テ八王子西北  
端以北カラ標高一七一六高地ヲ攻撃サセ一大隊半ヲ豫備トシテ其後方ニ  
置ク

第九想定

(八王子附近)

- 一 東京附近ニ集合中ノ東軍ニ對シ西軍ハ駿河地方ヨリ相模平地ニ進入中ナリ
- 二 西軍主力ニ策應シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル西軍獨立第一師團ハ甲府方面ヨリ東進スルニ方リ一支隊ヲ約半日行程ヲ距テテ先遣シ師團ノ隘路進出ヲ掩護

セシム

- 三 該支隊ハ十月六日午前九時前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ八王子西南端千人町ニ達ス同時迄ニ支隊長ノ得タル情況左ノ如シ
  - 一 我騎兵ハ日野臺上ニ於テ稍優勢ナル敵騎兵ノ壓迫ヲ受ケ退却中ナリ
  - 二 少クモ歩兵一旅團ヲ基幹トスル諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ甲州街道ヲ西進中ニシテ目下日野驛ニ達スルノ距離ニ在リ
  - 三 淺川ハ概ネ徒涉シ得ルモ湯殿川ハ徒涉場ナシ
- 四 支隊ノ編組左ノ如シ
  - 長 少將某



步兵第一聯隊及同第二聯隊第一大隊  
騎兵第一中隊  
野砲兵第一大隊(第三中隊欠)  
工兵第一中隊  
衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル西軍支隊長ノ決心

決心

支隊ハ北野村西方高地ヲ占領シ師團ノ進出ヲ掩護セントス

第二問題

北野村附近支隊陣地占領法

研究項目

- 一 隘路前防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 隘路前持久防禦配備
- 三 行軍縱隊ヨリ防禦陣地ニ就ク方法

説明

地形判斷 午前九時ノ情況ニ於テ支隊長ハ遭遇ヲ豫期シ續イテ前進スルハ無謀デアアル占領ノ出來ル範圍内デ陣地トナリソウナノハ八王子東端ヨリ北野村ニ亘ル線及散田村附近等デアアルガ前者ハ兵力ニ比シ正面過廣デ且八王子ハ其北方高地カラ瞰制セラレル不利ガアル後者ハ師團進出ノ爲メ餘地ガナイ

北野村西方高地附近ハ前地ハ射界ヲ有シ淺川ノ障礙アリ右側ハ山地左側



ハ八王子ニ托シ後方ニ餘地ヲ存シ不利ナル場合ニ於テモ隘路口ヲ直接閉塞スルコトガナイカラ此場合有利ナ陣地デアル

防禦配備 打越高地ヲ歩兵ノ一部ト機關銃ヲ以テ占領シテ右翼ノ據點トシ主力ヲ以テ北野村西方高地稜線ヲ占領シ更ニ一部ヲ以テ八王子南側標高一五〇九高地ヲ堅固ニ占領シ砲兵ハ八王子南方三叉路附近豫備隊ハ小比企東側附近ニ位置ヲサセ騎兵中隊ハ左側ノ警戒ニ任ズル  
防禦陣地ニ就ク方法 ハ尖兵中隊ヲ八王子東端ニ出シ騎兵ヲ支援シテ支隊ノ陣地占領ヲ掩護サセ前衛及支隊本隊ハ千人町ヨリ八王子南側ヲ經テ陣地ノ後方ニ到リ砲兵ハ八王子中央ヨリ南折シテ陣地ニ進入ス大行李ハ上桐田以南ニ停止サセ支隊長ハ砲工兵隊長ヲ伴ヒ陣地ノ偵察ヲ爲シ標高一五〇九高地南側ニ於テ陣地占領ノ命令ヲ下ス

第十想定

(八王子西方附近)

一 房總半島ヨリ前進シタル東軍ハ長野方面ヨリ前進セシ

西軍ト桶川川越ノ線ニ於テ相對峙シ決戦ヲ準備ス

二 甲府方面ノ敵ニ對シ軍ノ左側ヲ掩護スヘキ任務ヲ有スル東軍支隊ハ甲州街道ヲ西進シ十月六日正午八王子ニ達シ支隊長ハ次ノコトヲ知リ八王子西方小佛峠南北ノ線ヲ占領スルニ決ス

一 確實ナル諜報ニ依レハ約一師團ノ敵ハ甲州街道ヲ前進中ニシテ本六日夕上野原ニ達スル距離ニ在リ  
二 軍ハ明後八日前面ノ敵ニ對シ攻勢ヲ取ル豫定  
三 青梅及五日市方面ニハ別ニ軍ヨリ一部ヲ派遣シ在リ  
三 支隊ノ編組左ノ如シ  
長 歩兵大佐某  
歩兵第一聯隊



騎兵第一中隊

山砲兵第一中隊

工兵一小隊

研究項目

- 一 山地防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 支隊ノ陣地占領
- 三 山地防禦ニ於ケル諸設備

説明

地形判斷 山地ノ持久防禦ニ在ツテハ敵ニ通ズル各道路ヲ扼止スルノデア  
 ル其守備線ハ此場合北方和田峠カラ小佛峠ヲ經テ川尻西方地區ニ亘ル間  
 デ最モ重キヲ置クハ小佛峠及甲州街道方面デア  
 陣地占領 和田峠ハ一中隊、小佛峠方面ハ歩兵一大隊、山砲二門、工兵半小隊ヲ

以テ景信山カラ小佛峠南方高地ニ亘ル間ノ守備ニ任ジ甲州街道方面ハ歩  
 兵一大隊、山砲二門、工兵半小隊ヲ以テ其左翼カラ三井村西北方高地ニ亘ル  
 間ノ守備ニ任ジ歩兵一中隊ヲ以テ川尻西方中澤村西北方高地ノ守備ニ任  
 ジ各守備隊ニハ騎兵一、二分隊宛ヲ附シ騎兵ノ主力ハ甲州街道ヲ前進シテ  
 遠ク敵情ヲ搜索サセ歩兵二中隊ヲ豫備トシテ上桐田附近ニ位置ヲサセル  
 山地防禦ニ於ケル諸設備 此山地防禦ハ交通ノ不便ナ場合デアアル夫故聯隊  
 ノ通信班及遞騎哨ニ依ル連絡法ヲ講ズルコトガ必要デアアル其他一般山地  
 防禦ノ設備ニ依ル

第十一想定

(八王子西方附近)

- 一 東軍ハ宇都宮及東京附近ニ集合中ニシテ西軍ハ長野地  
 方ヨリ利根川河孟ニ前進中ナリ
- 二 軍ニ策應シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ甲府  
 方面ヨリ東進セシ西軍獨立第一師團ハ十月六日夜前衛ヲ



以テ與瀨附近本隊ヲ以テ上野原以西ニ宿營ス

FCO

此夜師團長ハ次ノ情報ニ接ス

一 東京方面ノ敵ハ本六日朝ヨリ西北方及西方ニ向ヒ運動ヲ開始セリ

二 軍ノ先頭ハ明後八日高崎附近ニ進出スル筈

三 我騎兵聯隊ハ本六日敵ノ騎兵ヲ驅逐シツツ日野臺附近ニ到リシカ夕刻敵ノ歩兵ニ壓迫セラレ八王子ニ後退セリ

三 師團ノ編成ハ騎兵一聯隊ニシテ別ニ山砲兵一大隊ヲ有ス

問題

師團ハ明九日如何ニシテ八王子附近ニ進出セントスルヤ

研究項目

一 山地進出法

二 隘路前ニ於ケル戦闘

説明

山地進出法 敵ノ歩兵ハ既ニ八王子ニ近ク前進シテ居ルカラ明日同地附近ノ進出ハ敵ニ妨害セラレルモノト覺悟セネバナラヌ然ルトキハ甲州街道方面カラノ進出ハ頗ル困難デアル夫故  
師團ハ明七日一部ヲ以テ甲州街道方面ヨリ主力ヲ以テ川尻方面ヨリ八王子ニ向ヒ前進スルヲ要ス  
是レ兩方面カラ協力シテ進出スルノト川尻附近ハ敵ニ遠イ方面デアルカラ其進出比較的容易デ同地附近ニ出タナラバ八王子ニ向ツテノ進出左程困難デナイカラデアル



隘路前ノ戰鬪法 翌七日左縦隊ガ八王子西方ニ於テ敵ノ一部ニ妨害ヲ受ケ  
其時ノ情況ニ依リ或ハ獨力攻撃スルコトモアリ或ハ一時持久防禦ヲ爲シ  
テ主力ノ進出ヲ待ツ場合モアル要スルニ情況ノ仕組ニ依ツテ隘路前戰鬪  
ノ研究ガ出來ル

第十二想定

(八王子附近)

- 一 高崎方向ノ敵ニ對シ伊勢原附近ニ集合中ノ南軍ハ一支隊ヲ先遣シ八王子附近ヲ占領シテ其進出ヲ容易ナラシム
- 二 該支隊ハ八王子附近ニ於テ敵ト遭遇ヲ豫期シ厚木―八王子街道ヲ北進シ十月七日午前十一時其歩兵先頭ヲ以テ八王子北方標高一七一、六高地ニ達セシトキ支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ前衛騎兵ヨリ敵ハ今ヨリ約十分前左入村北方高地ニ達シ該稜線ニ盛ニ工事中ナルノ報ニ接シ

直ニ此敵ヲ攻撃スルニ決ス

三 支隊ノ編組左ノ如シ

- 長 大佐某
- 歩兵第一聯隊
- 騎兵一小隊
- 野砲兵第一中隊
- 工兵一小隊
- 衛生隊半部

研究項目

- 一 谷地攻撃ノ爲メ地形判斷
- 二 谷地攻撃配備
- 三 谷地攻撃要領



說 明

地形判断 本道附近以東ハ谷路川ノ障碍モ漸次増加シ且谷地ガ廣イカラ我  
 縁端上カラノ援助射撃モ充分デナイ又遠ク上流カラノ攻撃ハ目下ノ時機  
 ニ適セナイ夫故最モ早ク攻撃シ得テ以上ノ害少ナクシテ利益多キハ梅坪  
 東側地區ヨリ横山東側ニ向ツテスル攻撃デアル  
 攻撃配備 約二中隊ヲ以テ本道ニ沿ヒ攻撃サセ二大隊ヲ其左翼カラ梅坪ニ  
 亘ル間ニ展開シ二中隊ヲ豫備トシテ主力ノ中央後ニ置キ砲兵ヲ標高一七  
 一六高地北方ニ配置シ工兵ハ其陣地進入ヲ援助シ騎兵小隊ノ主力ハ左翼  
 ニ一斥候ヲ右翼方面ニ配置スル  
 谷地攻撃要領 我縁端ニ於テ充分ナ準備射撃ヲ爲シ砲兵ト歩兵ノ一部ノ掩  
 護射撃ニ依ツテ攻撃前進ヲスル

第十三想定

(八王子附近)

- 一 南軍ハ相模川右岸地區ニ集合中ニシテ北軍ハ高崎方向ヨリ南進中ナリ
- 二 北軍ノ八王子以南進出ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル北軍支隊(歩兵一旅團ヲ基幹トス)ハ川越附近ニ集合中敵ノ一部既ニ北進セシ報ニ接シ其前衛(司令官大佐某、歩兵第十五聯隊(第三大隊欠)、騎兵一小隊、山砲兵第一中隊、工兵一小隊)ヲ約三時間間行程先遣シテ八王子附近ヲ占領セシム
- 三 該前衛ハ川越—八王子道ヲ南進シ十月七日午前十一時其歩兵先頭ヲ以テ多摩川渡河點ニ達セシトキ歩兵約一聯隊ヲ基幹トスル敵ハ目下八王子北方高地端ニ達スル距離ニ在ルコトヲ知り左入北方高地ヲ占領シ本隊ノ來著ヲ待ツニ決ス



研究項目

- 一 谷地防禦ノ爲メ地形判斷
- 二 谷地防禦配備
- 三 谷地防禦ノ要領

說明

地形判斷 第十二想定ヲ述ベタ主旨ニ依ツテ横山東側高地ニ重點ヲ置キ其  
 兩側ヲ一部ヲ以テ占領スル  
 防禦配備 横山東側高地稜線ヲ一大隊美根北側高地ヲ一中隊ヲ以テ占領シ  
 瀧山北側高地ノ稜線上ヲ二中隊ヲ以テ主トシテ横山南側ヲ側防スルヤウ  
 ニ占領サセ山砲兵ハ横山北側高地上ニ配置シ一中隊ヲ豫備トシテ本道方  
 面ニ置ク  
 谷地防禦要領 高地防禦ノ要領ニ依ツテ成ルベク死角ヲ消滅スル手段ヲ講

ジ必要ノ地點ニ火力集中ノ出來ルヤウ配置シ尙攻者ガ對岸斜面ヲ降ルト  
 キ充分射撃ノ出來ルヤウニ設備スル

第十四想定

(八王子附近)

一 甲州街道ヲ西進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル西軍  
 混成第一旅團ハ甲府方向ヨリ前進シ十月八日午前十時前  
 衛司令官大佐某、步兵第一聯隊(第三大隊欠)、騎兵第一中隊(二  
 分隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)、歩兵ノ先頭  
 ヲ以テ八王子東方大和田西端ニ達セシトキ前衛司令官ハ  
 前衛騎兵ヨリ次ノ報告ヲ受クルト同時ニ東方ニ方リ銃聲  
 チ聞ク

一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ午前九時五十分日野渡場ニ  
 達シ續イテ前進中ナリ



二 騎兵中隊ハ日野西方臺上ニ於テ略同等ノ敵騎ト對峙  
シ在リ  
混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

注意 淺川ハ徒涉容易、多摩川ハ諸處徒涉場アリ日野

臺上ノ桑樹ハ矮小、栗須新田附近ノ森林ハ殆ト

伐採セラレ在リ

研究項目

- 一 遭遇戦ニ於ケル前衛司令官ノ決心
- 二 本隊ノ分進法
- 三 遭遇戦ノ展開法
- 四 遭遇戦ニ於ケル砲兵陣地
- 五 遭遇戦ニ於ケル命令下達

説明

前衛司令官ノ決心 此場合ノ遭遇戦ハ特ニ我ニ不利ナ所ガナイ又前衛獨力  
 デ乗ジルコトモ出来ナイ所謂統一展開ヲ爲スベキ場合デアアル夫故前衛ハ  
 或地點ニ於テ本隊ノ展開ヲ掩護スルノデアアル即チ  
 前衛ハ栗須新田西端附近ニ展開シ本隊ノ展開ヲ掩護セントス



故ニ前衛ハ本隊ヲ中央トシテ一大隊半ヲ展開シ二中隊ヲ豫備トシテ持チ  
 前衛砲兵ハ大和田東北約五百米附近ノ陣地ヲ占領スル  
 本隊ノ分進法 此場合本隊ノ先頭ニ在ル歩兵第一聯隊第三大隊ハ千人町西  
 南端附近ヲ行進中デアル之ヲ速ニ八王子南側ニ沿ウテ分進サセ本隊砲兵  
 ノ爲メ進路ヲ開放サセ續イテ行進セル歩兵第二聯隊ヲ此場合八王子市街  
 ノ兩側ヲ通過サセルトキハ却テ遅延スルカラ東端迄其儘前進サセ同所カ  
 ラ分進サセルノガ善イ其他大行李、輜重ノ停止、先進輜重ノ招致モ處置セネ  
 バナラヌ  
 展開法 此場合第一聯隊第三大隊ヲ聯隊長ノ指揮ニ復歸シ前衛ノ右翼ニ展  
 開サセ第二聯隊(第三大隊欠)ヲ前衛ノ左翼ニ展開サセ歩兵第二聯隊第三大  
 隊ヲ豫備トシテ本道ニ沿ウテ前進サセル  
 砲兵陣地 遭遇戰ニ於テハ特ニ迅速ヲ尙ブ其前衛砲兵ハ前ニ述べタ通りデ  
 アル但本隊砲兵ノ來著ヲ顧慮シ左翼ニ位置スルヤウ占メルノデアル本隊  
 砲兵ハ進入ノ迅速ト本道兩側地區ニ火力ヲ及ボス爲メ一中隊ハ前衛砲兵

ノ右翼一中隊ハ大和田東南方約五百米片點線路ノ通ジテ居ル臺上ガ善イ  
 命令下達 最初前衛司令官及同行セル砲兵隊長ニ展開掩護命令並ニ砲兵陣  
 地ノ概要ヲ命ジ本隊ニハ各別ニ分進命令ヲ下シ後大和田東端附近ニ於テ  
 統一セル展開命令ヲ下ス

第十五想定

(八王子附近)

- 一 東軍ハ宇都宮附近ニ集合中ニシテ其一部ハ大宮方向ニ南下セリ
- 二 宇都宮方向ノ敵ニ對シ利根川右岸地區ヲ領有スヘキ任務ヲ有スル西軍第一師團ハ甲府方向ヨリ東進スルニ方リ其前進ヲ容易ナラシムル爲メ一支隊(歩兵五大隊ヲ基幹トス)ヲ約一日行程先遣ス
- 三 該支隊ハ甲州街道ヲ東進シ十月八日午前九時其前衛(司



三 令官大佐某、歩兵第二聯隊(第七、第八中隊及第三大隊欠)、騎兵第一中隊(二分隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)、歩兵ノ先頭ヲ以テ八王子西端ニ達セシトキ支隊長ハ本隊ノ先頭ニ在リテ次ノ報告ニ接ス

二 諸兵連合ノ敵ハ昨夜大宮附近ニ達シ其歩兵ノ一部ハ志木ヲ占領セリ

一 前衛騎兵ハ午前八時三十分以來稍優勢ノ敵騎ト多摩川ヲ挾ンテ相對峙シ在リ

四 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一聯隊、同第二聯隊(第三大隊欠)

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ日野臺附近ヲ占領スル目的ヲ以テ依然甲州街道ヲ前進セントス

情 況

午前十一時十分前衛司令官ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ大



和田ニ達セシトキ騎兵將校斥候ヨリ次ノ報告ヲ受領ス

少クモ混成一旅團ヲ下ラサル敵ハ午前十時三十分立川

停車場東北方約千米ニ達シ續イテ前進中ナリ

午前十時三十分前衛司令官ハ前兵ノ先頭ニ在リテ栗須

新田ニ達ス此時敵ノ歩兵點々日野驛西端高地附近ニ現出

シツツアリ

注意 日野川ハ概ネ徒涉シ得日野臺上ノ桑樹ハ矮小森

林ハ部隊ノ通過容易ナリ

### 第二問題

午前十時三十分ニ於ケル前衛司令官ノ決心

### 答 解

前衛ハ獨力前面ノ敵ヲ攻撃セントス

### 研究項目

- 一 遭遇戦ニ於ケル前衛司令官獨力攻撃ノ決心
- 二 前衛ノ攻撃部署
- 三 本隊ノ展開法
- 四 遭遇戦ニ於ケル砲兵陣地
- 五 遭遇戦ニ於ケル命令下達法

### 說 明

前衛司令官ノ決心 敵ハ目下臺上ニ取掛ラウトスル不利ナ状態ニ在ルサウ

シテ支隊ハ日野臺附近占領ノ企圖ヲ持ツテ居ル此場合一刻猶豫セバ敵ハ

高地端ニ根據ヲ占メルカラ前衛ハ獨力攻撃スルノガ適當デアル

前衛攻撃部署 前兵タル二中隊ヲ栗須新田東北端本道以北前衛本隊タル一



筒大隊ヲ其右翼ニ展開サセ前衛砲兵ハ栗須新田西北端ニ陣地ヲ占領サセ  
ル此際前衛司令官ハ豫備ヲ取ル必要ハナイ是レ後方ヨリ續々増加セラレ  
ルカラデアアル

本隊ノ展開法 此場合ハ最モ迅速ヲ尙ブノデ建制分割ナドヲ顧慮シテ居ル  
暇ガナイ前衛ノ兩側ニ逐次展開シ既ニ攻撃中ノ前衛ニ増加シテ高地端ニ  
取付カウトスル敵ヲ衝キ落スノデアアル即チ歩兵操典第二部第四十六後段  
ニ示ス場合デアアル夫故支隊長ハ第一聯隊ノ殘餘ヲ直ニ前衛司令官ニ復歸  
シ本道兩側ニ展開サセ第二聯隊ヲ其兩側ニ向ケ展開サセル  
砲兵陣地 此場合ニ中隊全部ヲ制高ノ利ヲ有シ且射界ガアツテ進入容易ナ  
栗須新田西北端附近ニ陣地ヲ占領サセル  
命令下達法 前衛第一聯隊ノ殘餘砲兵隊第二聯隊ニ各列ニ最初カラ直ニ展  
開命令ヲ下ス

第十六想定

(八王子附近)

一 甲州街道ヲ西進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル西軍  
混成第一旅團ハ甲府方向ヨリ東進シ十月八日午前十時前  
衛司令官大佐某歩兵第一聯隊第三大隊欠、騎兵第一中隊(二  
分隊欠)野砲兵第一中隊、工兵第一中隊、步兵ノ先頭ヲ以テ大  
和田西端ニ達セシトキ前衛司令官ハ前兵ノ先頭ニ在リテ  
前衛騎兵ヨリ次ノ報告ヲ受クルト同時ニ栗須新田方向ニ  
方リ銃聲ヲ聞ク

- 一 敵ノ歩兵約二大隊栗須新田東端ニ於テ本道ヲ中央ト  
シテ展開シ其後方ニハ續々歩兵部隊ノ前進スルヲ見ル
  - 二 騎兵中隊ハ敵ノ歩騎兵ノ壓迫ヲ受ケ栗須新田西方ニ  
退却中ナリ
- 二 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ



長 少將某  
 步兵第一、第二聯隊  
 騎兵第一中隊  
 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊  
 工兵第一中隊  
 衛生隊半部  
 師團輜重ノ約半部

研究項目

- 一 展開敵ニ後レントシタル場合前衛司令官ノ決心
- 二 前衛ノ本隊展開掩護法
- 三 本隊ノ展開法

説明

前衛司令官ノ決心 展開ガ敵ニ後レヨウトスル場合デモ本隊展開ノ餘地ガ  
 ナケレバ前衛ハ獨力攻撃スル場合モアルガ此場合ハ後方ニ於テ展開ヲ許  
 スカラ前衛無謀ノ前進ハ戒メネバナラヌ又大和田附近ノ高地端ヲ占領ス  
 ルコトハ望マシイコトデアルケレドモコレデハ終始弱勢ノ兵力ヲ以テ敵  
 ニ對セネバナラヌコト、ナルカラ此際前衛司令官ハ步兵操典第二部第四  
 十七ノ主旨ニ依ツテ慎重ノ態度ヲ取ルヲ要スル即チ  
 前衛ハ八王子東端ノ線ヲ占領シ本隊ノ展開ヲ掩護セントス  
 前衛ノ本隊展開掩護法 此際前衛司令官ノ著目ヲ要スルハ八王子東北方標  
 高一五四二高地ノ占領デアアル彼高地ヲ敵ニ占領セラレタナラバ旅團ハ非  
 常ニ不利ノ形勢ニ陥ル即チ步兵操典第二部第四十四ニ「戰鬪ノ支撐タルベ  
 キ要地ハ縦ヒ戰鬪ヲ惹キ起シ又ハ正面過廣トナルノ虞アリト雖モ之ヲ占  
 領スルコトニ躊躇スベカラズ」トアルノハ之デアアル夫故大隊長ノ指揮スル  
 二中隊位ヲ以テ占領スル必要ガアルハ八王子東端ハ二中隊ヲ以テ占領シ前  
 衛砲兵ハ八王子東南端附近ニ陣地占領其他ハ八王子東北側附近ニ集結ス



本隊ノ展開法 本隊ノ步兵第二聯隊第三大隊欠ヲ北野村西方高地ニ展開サ  
セ兩聯隊ノ二箇大隊ヲ八王子南側附近ニ開進シテ一時待機ノ姿勢ニ在ッ  
テ敵ノ何レノ方法ニモ應ジルヤウニシ本隊砲兵ハ七日市場西方高地附近  
ニ陣地ヲ占領サセ其他衛生隊及後方ノ處置ヲスル

第十七想定

(八王子附近)

- 一 甲州街道ヲ東進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル東軍混成第二旅團ハ東京方面ヨリ西進シ十月八日午前九時三十分日野西方臺上ニ達シ略同等ノ敵ト粟須新田西方地區ニ於テ敵ト衝突ヲ豫想シ同村東端附近ニ展開ヲ始ム
- 二 午前十時十分先頭聯隊ノ大部展開終リ本隊砲兵モ日野西方高地端ニ達ス此時旅團長ハ日野西方臺上ニ在リテ敵

三

ハ八王子東端附近ニ展開ヲ始メタルコトヲ知ル

混成第二旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第三、第五十七聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

研究項目

- 一 敵カ後方ニ於テ展開ヲ始メタル場合ノ遭遇戰指導法
- 二 攻撃區處



說 明

指導法 敵が其展開ノ後レタノヲ看破シ後方ニ於テ餘地ヲ存シテ展開ヲ始メタノデアアルカラ此際旅團ハ無謀ノ猪突ヲ避ケ動作ノ自由ヲ保持シナガラ敵ノ弱點ニ乗ジルコトガ必要デアアル即チ若干計畫攻撃ノ要領ニ近イノデアアル旅團ハ今カラ本道ニ沿ヒ直進スルトシタナラバ八王子ノ障礙ニ衝突シ殊ニ八王子東北方高地ヲ敵ニ占領セラレルナラバ益、不利ノ形勢ニ陥ル故ニ一部ヲ以テ八王子東北方高地ニ向ハセ主力ハ本道南側地區カラ北野村ニ向フヤウ攻撃スルヲ有利トスル

攻撃區處 最右翼ニ在ル歩兵一大隊ニ機關銃二ヲ附シ八王子東北方高地ヲ占領サセ其他ノ主力ハ粟須新田南側地區ヲ經テ大和田ヨリ中込ニ亘ル間ニ展開シ其重點ヲ北野村北側地區ニ向フヤウニシ砲兵ハ大和田東側高地上ニ陣地ヲ占領スル

此研究ニ依ツテ西軍モ若干待機ノ姿勢ニ在ル必要ガ自然ニ分ルノデアアル

第十八想定

(八王子附近)

- 一 厚木方向ヨリ前進スル敵ニ對シ八王子附近ヲ占領シテ後續部隊ノ來著ヲ待ツヘキ任務ヲ有スル北軍支隊ハ高崎方向ヨリ前進シ八王子南方小比企附近ヲ占領シテ今朝來敵ノ攻撃ヲ受ケツツ在リテ十月九日午前十時ニ於ケル彼我ノ情況並ニ地形左ノ如シ
- 一 歩兵第一聯隊ハ散田南方標高一七六、九高地ヨリ小比企村ニ亘ル間ヲ占領ス
- 二 歩兵第二聯隊(第三大隊欠)ハ其左翼ヨリ北野村ニ亘ル間ヲ占領ス
- 三 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)ハ小比企村西北側高地上



- 三、第三中隊ハ八王子南方本街道ノ三又路附近ニ陣地ヲ  
 占領ス
- 四 歩兵第二聯隊第三大隊、工兵第一中隊ハ豫備隊トシテ  
 八王子中央南側ニ位置ス
- 五 騎兵中隊ノ主力ハ散田西南方ニ於テ支隊ノ右側ヲ警  
 戒シ其一部ハ左翼方面ニ在リ
- 六 衛生隊ハ八王子南側、大行李ハ拜島ニ位置ス
- 七 敵ハ目下其第一線ハ横山村大巻ヨリ小比企南方約千  
 米ノ高地ヲ經テ片倉ニ亘ル間ニ達シ其重點ハ大巻方面  
 ニ在リテ其兵力八、九大隊ヲ下ラサルモノノ如シ
- 八 湯殿川ノ斷崖ハ歩兵ノ攀登稍、困難ナリ
- 二 此時支隊長ハ豫備隊ニ位置シ次ノ情報ニ接ス

- 一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ甲州街道ヲ東進中ニシテ今  
 ヨリ約一時間後ニハ上栲田村ニ達スル距離ニ在リ
- 二 支隊ノ増援タル歩兵第三聯隊ハ松山方向ヨリ南進中  
 ニシテ午後三時乃至四時頃箱根崎附近ニ達スル筈

問 題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ今ヨリ直ニ陣地ヲ撤シ箱根崎附近ニ退却シ増援隊  
 ノ來著ヲ待タントス

研究項目



- 一 退却處置ノ順序
- 二 收容隊及收容陣地
- 三 第一線部隊ノ退却順序
- 四 第一線部隊ノ收容法

說 明

前面ノ敵ハ支隊ヨリモ優勢デアツテ新タナ敵ハ近ク支隊ノ右側ニ迫リツ、在ルカラ支隊ハ到底増援隊ノ來著迄維持ノ出來ル見込ガナイ夫故退却ニ決シタノデアアルサウシテ退却目標ヲ箱根崎ニ取ツタノハ彼ノ附近ニ退却シタナラバ間モ無ク増援隊ガ來著スルノト地形ノ利ヲ藉ツテ再舉ヲ計ル見込ガアルカラデアアル

退却處置ノ順序 ハ先ヅ後方カラ逐次ニ退却サセ通路ノ自由ヲ得テカラ後第一線ニ及ボスノデアアル即チ

大行李衛生隊ノ後退

收○容○部○隊○ノ○任○命  
第○一○線○部○隊○ノ○退○却

收容隊及收容陣地 收容隊ハ豫備タル歩兵第二聯隊第三大隊ニ工兵ノ一部及出來タナラバ機關銃隊ヲ附ケルノガ善イ但此内歩兵一小隊ヲ散田方面ニ派遣シ騎兵ヲ支援シテ右側ヲ警戒サセル必要ガアル

砲兵ハ主力方面デ取ルカ第三中隊ヲ取ルカ、研究ヲ要スル主力砲兵ハ收容陣地ニ就ク爲メ比較的多クノ時間ヲ要スルノト該方面ハ敵ノ重點ガ向ツテ居ツテ而カモ接近容易デアルカラ之ヲ早ク退ケルコトハ一考ヲ要スル之ニ反シ第三中隊ハ撤退容易デアツテ而カモ湯殿川ノ障壁上敵ガ直ニ肉薄ガ出來ナイカラ之ヲ收容砲兵ニスルノガ善イ

收容陣地ハ八王子北方標高一七一、六高地カ大和田附近カデアアル後者ハ左翼方面ノ收容ニハ便デアアルガ目下敵ノ重點ノ向ツテ居ル方面及新タナ敵ニ對シ不充分デアアル夫故此場合八王子北方高地ヲ可トスル

第一線部隊ノ退却順序 ハ敵ノ攻撃最モ劇烈ナル方面即チ右翼方面ヲ後ニ



シ左翼方面ヲ先ニ退却サセルノデア  
 第一線部隊ノ收容法 右翼第一聯隊ハ其豫備隊ヲ以テ八王子西端標高一六  
 七、九高地ヲ占領サセ左翼第二聯隊ハ其豫備隊ヲ以テ下大和田ノ高地端ヲ  
 占領サセテ其第一線ヲ收容スルサウシテ右翼隊ハ八王子西側地區カラ拜  
 島方面ニ、左翼隊ハ大和田西北側地區カラ石川方面ヲ經テ拜島村ニ到ル

第十九想定

(八王子附近)

- 一 南北兩軍ハ府中、溝口ノ線ニ於テ多摩川ヲ挾ンテ相對峙シ決戰ヲ準備中ナリ
- 二 敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ有スル北軍支隊(歩兵五大隊、野砲兵三中隊ヲ基幹トス)ハ扇町屋―八王子道ヲ南進シ八王子南方小比企附近ヲ占領シテ十月九日午前八時頃ヨリ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受ケツツ在リ

- 三 北軍支隊ニ増援スヘキ任務ヲ以テ歩兵第二聯隊第三大隊、野砲兵第三中隊ハ西南方ニ方リ盛ナル銃砲聲ヲ聞キツツ砂川―八王子道ヲ前進シ午前十一時其先頭大和田東端ニ達セシトキ小比企附近ノ友軍ハ混亂シテ八王子北方高地ニ向ヒ退却シツツ在ルヲ知ル

問 題

午前十一時ニ於ケル北軍増援隊長ノ決心

答 解

増援隊ハ直ニ大和田附近ヲ占領シ支隊ノ退却ヲ收容セントス



研究項目

- 一 收容ニ關スル決心
- 二 收容隊ノ陣地占領

説明

收容ニ關スル決心 支隊ハ今ヤ混亂シテ退却中デアツテ地形ト増援隊ノ兵力ノ關係上最早戰勢ヲ挽回スル見込ハナイカラ此際支隊ヲ收容スル策ニ出ルハ至當デアアルソウシテ目下ノ位置ハ八王子西南側方面ニ威力ガ及バナイガ一刻モ早ク收容ノ出來ルコト、敗退スル友軍ノ爲メ射撃ヲ妨害セラレナイ關係上現在地附近ノ占領ヲ有利トスル

收容隊ノ陣地占領 砲兵ヲ大和田東南側高地上ニ置キ歩兵ハ成ルベク南方ニ出デ下大和田附近ヲ占領スル

第二十想定

(八王子附近)

- 一 南北兩軍ハ府中、溝口ノ線ニ於テ多摩川ヲ挾ンテ相對峙シ決戰ヲ準備中ナリ
- 二 軍ノ側背ヲ掩護スヘキ任務ヲ有スル北軍支隊(歩兵一旅團、野砲兵一大隊ヲ基幹トス)ハ八王子西北方高地ヨリ大和田北方高地附近ニ亘リ陣地ヲ占領シ十月十日朝以來歩兵約三聯隊ヲ基幹トスル敵ノ攻撃ヲ受ケツツ在リ
- 三 北軍支隊ニ増援スヘキ任務ヲ以テ小川―八王子道ヲ前進シタル増加隊ハ八王子方向ニ方リ盛ナル銃砲聲ヲ聞キツツ十日午前十時其先頭ヲ以テ栗須新田東方約千米ニ達シタルトキ栗須新田西方地區ニ於テ盛ナル喊聲起リ同時ニ支隊ノ左翼ハ漸次谷路川河谷方向ニ敗退シツツ在ルコトヲ知ル



四

増加隊ノ編組左ノ如シ

長 大佐某

歩兵第三聯隊(第三大隊欠)

騎兵一分隊

野砲兵第一中隊

工兵一小隊

問 題

午前十時ニ於ケル北軍増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ直ニ敵ノ右側ニ向ヒ攻撃セントス

問 題

増加隊ハ如何ニシテ敵ヲ攻撃セントスルヤ

研究項目

- 一 友軍敗退セル場合戰場ニ到着セシ増加隊長ノ決心
- 二 増加隊攻撃方法

説 明

増加隊長ノ決心 友軍ノ左翼ハ今ヤ敗退シツ、在ルモ増加隊ハ止ツテ收容  
 スベキ時機デナイ即チ友軍ノ危急ヲ救フ爲メニモ將又戰勢ノ挽回ガ出來  
 ル見込ニ對シテモ斷然攻撃スルノガ至當デアアル地形モ之ニ適スル  
 攻撃方法 此様ナ場合ニハ逐次戰線ニ注入シタイノハ誰シモ起ル考案デア  
 ル併シ此ハ指揮官トシテ大ニ考ヘネバナラヌ所デアアル微力ナルモノヲ逐  
 次加ヘテモ所謂燒石ニ水デアアル夫故相應兵力ノ纏マル迄ハ目ヲ閉ヂテ忍  
 耐スルコトガ必要デアアル



次ニ攻撃方面ハ粟須新田北側地區デアル砲兵ハ日野臺上ニ上ルト直ニ陣地ヲ占領シテ砲撃ヲ開始シ工兵ヲシテ陣地進入ヲ援助サセルト共ニ敵騎ニ對シ直接掩護トナラセ歩兵ノ先頭ハ現在地ニ停止シテ大部ノ集結ヲ待チ攻撃前進ニ移ル

第二十一想定

(八王子附近)

- 一 甲州街道ヲ東進セシ西軍混成第一旅團ハ十月十一日拂曉ヲ以テ八王子東北方高地ヨリ大和田附近ヲ經テ其南方中込附近ニ亘リ陣地ヲ占領セル敵ヲ攻撃シ午前八時ニ於ケル情況次ノ如シ
  - 一 八王子東北方高地ニ向ヒシ二大隊ハ該地ヲ固守セル敵ニ對シ未タ其陣地ヲ奪取スルニ至ラス
  - 二 八王子東端ヨリ北野附近ニ亘リ展開シ大和田以南ノ

- 敵ニ向ヒ攻撃セシ主力(四大隊)ハ頑強ニ固守セシ敵ヲ驅逐シテ其第一線ハ大和田以南ノ高地端ニ達ス
- 三 野砲兵大隊ノ主力(二中隊)ハ北野西方高地ニ一中隊ハ八王子西北方萩原橋南端ニ在リテ各大和田高地上及八王子東北方高地ヲ射撃中ナリ
- 四 主力第一線ハ大和田臺上ニ達スルヤ前面ノ敵ハ東方ニ退却中ニシテ日野西方高地上ヨリ敵ノ砲撃ヲ受ク

研究項目

- 一 第一線部隊ノ追撃法
- 二 野砲兵ノ追撃前進

説明



第一線部隊ノ追撃 此場合敵陣地ノ要點ハ尙殘存シテ居ルノデ大和田以南ノ高地端ヲ奪取シタ主力ハ其一部若クハ大部ヲ以テ八王子東北方高地ニ向フカ或ハ直ニ全部ヲ以テ當面ノ敵ヲ追撃スルカハ一考ヲ要スルノデア  
ル敵陣地ノ要點尙殘存セルモ大和田以南ノ敵ノ退却ト日野西方高地上カラノ砲撃(恐ラク收容砲兵デアラウ)ヨリ察スルニ敵ハ大勢ニ於テ陣地保持若クハ決戦ノ見込ガナイト諦メタモノト判斷セラレル隨ツテ一部ノ殘存セルモノハ打捨テ、當面ノ敵ヲ急追スルノガ至當デアアルコウシテ日野方面ニ猛進セバ八王子東北方高地ハ自然ニ陷落スルニ至ルデアラウ夫故此際大和田以南臺上ニ達シタ主力ハ極力現在ノ隊形ヲ以テ日野高地端迄急追スルコトガ必要デアアル即チ此場合敵陣地ノ後端ハ日野附近デアアル第一線各部隊ハ敵ニ一刻ノ猶豫モ與ヘズ猛進スルノデアアルコウシテ日野高地端ニ達シタ後敵退却ノ状態ニ依ツテ尙其儘前進スルカ或ハ最モ進出容易ナ部隊ヲ以テ追撃隊ヲ編組シテ追撃サセルカハ其時ノ情況ニ依ルノデアアル砲兵ノ追撃 一部ノ砲兵ハ依然八王子東北方高地ノ奪取ニ協力シツ、アル

ガ主力砲兵ハ直ニ大和田臺上ニ陣地變換ヲスベキデアアル即チ野砲兵操典草案第二部第七十九ニ「追撃ニ方リテハ一時連繫ノ維持ヲ放棄セザルヲ得ザルコトアリ是速ニ敵ヲ急追スルヲ以テ主眼トスレバナリ此場合ニ於テハ陣地變換ハ勢ヒ之ヲ大隊長若ハ中隊長ノ獨斷ニ委セザルヲ得ザルコト多シ」トアルハ此場合デアアル

## 第二十二想定

(八王子附近)

一 敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ以テ甲州街道ヲ東進セシ西軍混成第一旅團(歩兵第一、第二聯隊、騎兵第一中隊、野砲兵第一大隊、工兵第一中隊、衛生隊半部、師團輜重ノ約半部)ハ小川方向ヨリ前進セシ略同等ノ敵ト十月十二日午前十一時粟須新田東端ノ線ニ於テ衝突シ激戦ノ後之ヲ擊退シ正午ニ於テル情況次ノ如シ



- 一 步兵第一聯隊ハ粟須新田東方約五百米附近本道ヲ含ミテ其以南步兵第二聯隊ノ二箇大隊ハ其左翼ニ展開シ步兵第二聯隊第三大隊ハ粟須新田北側地區ヲ前進中ナリ
- 二 野砲兵ノ主力ハ大和田東北方約五、六百米、一部ハ大和田東南方約六百米附近ニ在リテ射撃中ナリ
- 三 我騎兵中隊ハ敵ノ騎兵ヲ壓迫シテ淺川河谷ヲ前進中ナリ
- 四 敵ハ其左翼方面ヨリ敗退シ今ヤ高地端ニ向ヒ退却中ニシテ其砲兵ハ日野西方高地端ニ在リテ尙射撃中ナリ

研究項目

- 一 追撃ノ爲メ地形判斷
- 二 各部隊ノ追撃法

說 明

地形判斷 第一線部隊ハ現在ノ隊形ヲ以テ其儘高地端ニ向ツテ急追スルコトハ前想定ト異ナラナイガ此場合敵ハ日野對岸下和田附近ニ於テ其第一線ヲ收容スルデアラウサウナルト多摩川ノ障礙ノ爲メ我追撃前進ヲ阻止セラレル虞ガアル之ガ爲メ旅團長ハ目下粟須新田北側ヲ前進中ニ在ル步兵第二聯隊第三大隊ヲ直ニ石川ヲ經テ福島方向ニ追撃前進サセルコトガ必要デアアルコノヤウニシテ敵ノ退路ニ迫ラセバ正面カラノ追撃ト相待ツテ敵ヲ殲滅スルコトガ出來ル故ニ次ノ如ク判決スル

旅團ハ直ニ主力ヲ以テ正面ヨリ一部ヲ以テ石川―福島道方面ヨリ追撃セシムルヲ要ス

各部隊ノ追撃法 第一線部隊ハ高地端迄極力追撃シ砲兵ハ直ニ前方ニ陣地ヲ變換スルコトハ前想定ト同様デアアル



第二十三想定

(八王子、府中附近)

- 一 敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ以テ甲州街道ヲ東進セシ西軍混成第一旅團ハ野火止方向ヨリ小川ヲ經テ前進セシ敵ト十月十二日正午多摩川ノ線ニ於テ衝突ヲ豫期シ日野附近ニ展開スルヤ敵ハ立川ヨリ下和田附近ニ亘ル間ヲ占領ス
- 二 旅團ハ直ニ主力ヲ以テ立川下和田ノ間、一部ヲ以テ下和田東側地區ニ向ヒ攻撃シ激戦ノ後午後三時敵ヲ東北方ニ擊退ス

注意 立川、下和田間ノ桑樹ハ大ナリ

研究項目

森林内ノ追擊要領

說明

歩兵操典第二部第百二「林縁ニ進入セシ部隊ハ敵ト觸接ヲ失フコトナク且速ニ隊伍ヲ整ヘ連繫ト行進方向トヲ保チ森林ノ前端ニ到達スルコトヲ勉ムベシ但森林淺キトキハ其前端迄突撃ヲ繼續スベシ」トアル此場合立川、下和田間ノ桑樹ハ大樹デアツテ森林ト異ナラナイ其東北方ニハ森林ガ續イテ居ル夫故主力方面ハ輕舉ニ前進シナイデ先ヅ斥候ヲ放ツテ敵ト觸接ヲ保持シ其他ハ少クモ大隊毎ニ集結シテ追擊前進ニ移ルコトガ必要デアル右翼方面ハ下和田北側ヲ濾過セバ直ニ開濶地ニ出ルカラ其儘下和田北側迄追擊シ爾後其東方ノ森林内ニ進入スルニハ左翼方面ト同様ノ注意ガ必要デアル

第二十四想定

(八王子、府中附近)

- 一 大宮方向ノ敵ニ對シ八王子附近ヲ占領シテ甲府方向ヨリ前進スル師團ノ進出ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル



西軍支隊(歩兵四大隊、野砲兵二中隊、ヲ基幹トス)ハ甲州街道ヲ東進シ十月十二日正午頃日野附近ニ達シ該高地ヲ占領スルヤ小川方向ヨリ前進セシ敵ハ午後一時頃立川附近ニ達シ爾後前進ノ模様ナク諸情報ニ依リ敵ハ我ヨリ弱勢ナルコトヲ偵知シ午後二時支隊ハ攻勢ニ轉ス

二 敵ハ頑強ニ抵抗シ激戦ノ後日没後辛ウシテ之ヲ撃退スルコトヲ得タルモ隊伍ノ混亂極度ニ達ス

問 題

日没時ニ於ケル西軍支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ一部ヲ以テ敵ヲ追撃シ主力ハ現在地附近ニ於テ整

頓セントス

研究項目

一部ヲ以テスル追撃

說 明

追撃ハ晝夜ヲ間ハナイデ極力實施スベキモノデアアルガ本想定ノヤウニ日ハ既ニ没シ數時間ノ激戦ノ爲メ部隊ハ混亂シ其上ニ敵陣地後方ニハ大森林ガアツテ此儘追撃シヨウトスルモ情況ハ之ヲ許サナイ故ニ小部隊及斥候ヲ以テ敵ト觸接ヲ維持スル即チ最モ不利ナル追撃ノ場合デアアル

第二十五想定

(拜島、八王子附近)

一 北軍ハ高崎方向ヨリ南進中ニシテ南軍ハ小田原ニ上陸シ伊勢原附近ニ集中中ナリ



二 軍ノ八王子以北ニ進出ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有ス  
 ル南軍支隊(歩兵一旅團、野砲兵一大隊ヲ基幹トス)ハ十月十  
 二日午後二本木、駒形富士ノ間ニ於テ敵ト遭遇シ決戦ニ至  
 ラスシテ日没ニ至レリ

三 此夜敵ノ後續部隊南進中ニ在ル報ニ接シ支隊ハ相模川  
 ノ線ニ退却シテ友軍ノ來著ヲ待ツニ決シ夜半ヨリ運動ヲ  
 起シ十三日午前八時其後衛後兵ノ後尾ヲ以テ拜島東南方  
 多摩川渡河點ニ達ス此時後衛司令官ハ次ノコトヲ知ル

一 敵ハ近ク我ニ追躡シツツ在リ  
 二 支隊本隊ハ目下八王子附近ニ於テ集結中ナリ  
 四 後衛ノ編組次ノ如シ  
 司令官 大佐某

步兵第二聯隊(第二大隊欠)  
 騎兵第一中隊(一小隊欠)  
 野砲兵第一中隊  
 工兵一小隊

問 題

午前八時ニ於ケル後衛司令官ノ決心

答 解

後衛ハ拜島對岸附近ヲ占領シ本隊ノ退却ヲ掩護セントス

研究項目

一 後衛陣地占領ノ爲メ地形判斷



二 後衛ノ防禦配備

説 明

地形判断 拜島對岸附近ハ斷崖デアツテ敵歩兵ノ攀登モ頗ル困難デアル支隊本隊ハ目下尙整頓中ニ在ツテ後衛ハ若干時間敵ノ前進ヲ遲滯サセル必要ガアルサウシテ此附近ノ地形ハ此目的ニ適スル即チ  
 拜島對岸附近ハ一時敵ノ前進ヲ遲滯セシムル爲メ後衛陣地ニ適ス  
 陣地占領 拜島對岸ノ陣地ハ正面頗ル堅固デアルカラ左入北方本道附近ニ砲兵ヲ置ケバ歩兵ハ殆ド陣地ニ就ケル必要ハナイ即チ監視部隊ヲ出シ谷路川河谷ニ集結シ置ケバ善イ但此際特ニ敵ノ迂回ニ對スル注意ガ必要デアル之ガ爲メ騎兵ノ一部ニ支援歩兵ヲ附ケテ高月西方附近ノ監視ニ任ジ騎兵ノ主力ハ敵ノ前進ニ伴ヒ日野方面ヲ警戒スル

第二十六想定

(拜島、八王子附近)

一 高崎方向ヨリ南進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル南軍第一師團ハ厚木―八王子道ヲ北進シ十月十三日午後箱根崎北方地區ニ於テ敵ト遭遇シ決戦ニ至ラスシテ日没ニ至レリ

二 此夜敵ノ後續部隊南進中ニ在ル報ニ接シ師團ハ相模川ノ線ニ退却シテ増援隊ノ來著ヲ待ツニ決シ夜半ヨリ運動ヲ起シ十四日午前八時其後衛後兵ノ後尾ヲ以テ拜島南方多摩川渡河點ニ達ス

此時後衛司令官ハ次ノコトヲ知ル

一 敵ハ近ク我ニ追躡シツツ在リ

二 八王子南方峠ノ道路ニ故障ヲ生シ之カ修理ニ約四五時間ヲ要ス



三

後衛ノ編組左ノ如シ  
 司令官 少將某  
 歩兵第三聯隊  
 騎兵第一中隊(二分隊欠)  
 野砲兵第一大隊  
 工兵第一中隊

問 題

午前八時ニ於ケル後衛司令官ノ決心

答 解

後衛ハ一部ヲ以テ拜島對岸附近主力ヲ以テ日野西方高地附近ヲ占領シ師團ノ退却ヲ掩護セントス

研究項目

- 一 後衛任務達成ノ爲メ地形判斷
- 二 後衛陣地占領

說 明

地形判斷 前想定ニ於テ研究シタヤウニ拜島對岸附近ノ陣地ハ優ニ敵ノ前進ヲ遲滯サセルコトガ出來ルガ此場合今カテ少クモ六七時間ノ抵抗ヲ要スル隨ツテ敵ハ堅固ナル正面攻撃ヲ避ケ恐ラク日野方面ニ迂回スルデアラウ故ニ後衛ハ抵抗時間ノ關係上主力ヲ以テ日野西方高地ヲ占領スルコトガ必要デアアル

後衛陣地占領 歩兵一大隊野砲兵一中隊ヲ以テ久保山附近以西ノ守備ニ任ジ其他ノ主力ヲ以テ日野西方高地主トシテ東光寺ノ突出部ヲ占領スル其他兩翼特ニ高月方面ノ顧慮ハ前ニ述べタ通りデアツテ配備ノ細部ハ略スル



第二十七想定

(拜島八王子附近)

九〇

二一

第二十六想定ニ同シ

三

是ニ於テ後衛司令官ハ一部ヲ以テ久保山以西ヲ占領セシメ主力ヲ以テ日野西方高地ヲ占領スルニ決ス

四

午前十時後衛ハ略陣地ニ就キ終ル此時後衛司令官ノ知リ得タル情況次ノ如シ

一 高月方面ニ方リ盛ナル銃聲ヲ聞ク

二 歩兵一聯隊ヲ下ラサル敵ハ西部砂川村ヨリ福島村方面ニ移動中ニシテ其先頭築地村附近ニ達ス

三 騎兵ノ報告ニ依レハ歩兵一聯隊ヲ下ラサル敵ハ所澤方向ヨリ前進シ本宿ヲ經テ南進中ナリ

四 多摩川ハ徒渉ヲ許ス

五

後衛ノ編組第二十六想定ニ同シ

問 題

午前十時ニ於ケル後衛司令官ノ決心

答 解

後衛ハ直ニ前面ノ敵ニ向ヒ逆襲セントス

研究項目

- 一 敵カ正面並ニ側背ニ迫ラントスル場合後衛司令官ノ決心
- 二 逆襲ノ方法

説 明

後衛司令官ノ決心 高月附近ニモ敵ノ一部近迫シテ居ルヤウデアアル又本宿

九一



方面カラ敵ノ一部我側背ニ迫リツ、在リ本宿方面ノ敵ガ關戸方面カラ西  
 南ニ進入セバ我後衛バカリデナク師團ノ側背ニ危害ヲ及ボスコト、ナル  
 而シテ正面ニモ相應ノ兵力ガ前進シツ、在ル此際後衛ガ依然現狀ヲ維持  
 セバ益々苦境ニ陥ルソコデ正面ノ敵ハ目下森林ヲ通過中デ不利ノ形勢ニ在  
 ル之ニ向ツテ斷然逆襲セバ成效ノ見込ガアルバカリデナク本宿方面ノ敵  
 ヲモ牽制シ得ルカモ知レナイ夫故此際後衛司令官ハ大英斷ヲ以テ逆襲ス  
 ルノガ至當デアル

●●●●●  
 逆襲ノ方法 砲兵ヲシテ臺上カラ掩護射撃ヲサセ步兵兩大隊ヲ併立シテ直  
 ニ攻撃前進ニ移ル

注意 本想定ハ第二十六想定ニ續イテ狀況ヲ以テ示スノモ善イ

第二十八想定

(拜島、八王子附近)

一 南軍ハ小田原附近ニ上陸シ北進中ニシテ北軍ハ高崎方  
 向ヨリ南進中ナリ

- 二 成ルヘク速ニ厚木附近ニ進出シ軍ノ前進ヲ容易ナラシ  
 ムヘキ任務ヲ有スル北軍支隊ハ兒玉—高萩道ヲ南進シ十  
 月十二日午後二本木、駒形富士ノ間ニ於テ敵ト遭遇シ決戦  
 ニ至ラスシテ日没ニ至レリ
- 三 敵ハ夜半ヨリ南方ニ退却シ支隊ハ天明ト共ニ川越—八  
 王子道ヲ追撃前進ニ移リツツ在リ
- 四 支隊前衛歩兵ノ先頭ハ十月十三日午前八時拜島停車場  
 ニ達ス同時拜島南方地區ヨリ敵ノ砲撃ヲ受ク
- 五 支隊ノ編組左ノ如シ
- 長 少將某
- 歩兵第一、第二聯隊
- 騎兵第一中隊



野砲兵第一大隊  
工兵第一中隊  
衛生隊半部

問 題

十三日午前八時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ砂川村ヲ經テ石川方向ニ轉進シ八王子ニ向テ前進  
セントス

情 況

午前十時歩兵先頭ハ福島村附近ニ達ス此時東光寺南方高

地ヨリモ敵ノ砲撃ヲ受ケ東光寺高地端ヲ敵ノ歩兵占領セ  
ルヲ知リ支隊長ハ此敵ヲ攻撃スルニ決ス  
注意 久保山ハ雜樹繁茂セリ

問 題

攻撃ノ爲メ東光寺附近地形判斷

研究項目

- 一 轉進ニ關スル決心
- 二 攻撃ノ爲メ地形判斷

說 明

轉進ニ關スル決心ハ第二十五想定ト對照セバ明瞭デアル  
攻撃ノ爲メ地形判斷 久保山方面ハ雜樹繁茂シテ居ルカラ主力ヲ用ヒルニ



適シナイ日野驛西南方附近ハ斜面急峻デアツテ攀登頗ル困難デアル夫故  
突角ヲ成形セル東光寺高地ニ向ヒ攻撃スルヲ有利トスル但一部ヲ以テ日  
野東側カラ敵ノ側背ニ迂回サセルヲ有利トスル砲兵ハ福島村原宿東側附  
近ニ陣地ヲ占領シ歩兵ハ長塚西方郷地ノ線ニ展開シ其重點東光寺突角ニ  
向フヤウ攻撃スル

第二十九想定

(拜島、上溝間)

- 一 高崎方向ヨリ南進シツツアル敵ニ對シ關本―會屋―厚  
木道ヲ前進中ナル軍(一師團半ヨリ成ル)ノ府中附近進出ヲ  
容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル西軍支隊ハ甲州街道ヲ東  
進シ十月十五日午前十時前衛ノ先頭ヲ以テ上柵田ニ達ス  
此時迄ニ支隊長ノ知り得タル情況次ノ如シ
- 一 歩兵約一聯隊ヲ基幹トスル敵ハ昨十四日夜扇町屋方

二

- 向ヨリ拜島ニ到著シ同地附近ニ陣地ヲ占領セリ
- 二 信スヘキ諜報ニ依レハ少クモ混成約一旅團ノ敵ハ高  
萩―八王子道ヲ南進中ニシテ午前十時ニハ扇町屋附近  
ニ達スル距離ニ在リ
- 三 軍ハ故障ナケレハ本日夕厚木附近ニ到著スル豫定ナ  
リ
- 二 支隊ノ編組左ノ如シ
  - 長 少將某
  - 歩兵第一、第二聯隊
  - 騎兵第一中隊
  - 野砲兵第一大隊
  - 工兵第一中隊



衛生隊半部  
輜重若干

第一問題

午前十時ニ於ケル西軍支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ拜島對岸附近ノ高地線ヲ占領シ軍ノ府中附近進出ヲ容易ナラシメントス

情 況

午後二時支隊ハ拜島東南方大神村ノ對岸ヨリ拜島西南方ニ亘ル線ヲ占領シ騎兵中隊ノ主力ハ日野附近ニ在リテ立

川附近ニ進出シタル優勢ノ敵騎ト相對ス

午後三時ヨリ四時ニ涉リ敵ノ主力ハ拜島西方高月東西ノ線ニ展開シ我左翼ニ向ヒ攻撃シ來ル是ニ於テ支隊長ハ左翼ヲ延長シテ之ニ對シ戰鬪漸次激烈トナリ彼我約七百米ヲ距テテ日没トナリ銃砲聲次第ニ止ム支隊ハ尙二大隊ノ豫備隊ヲ加住村字留所附近ニ持ツ

此夜午後十時迄ニ支隊長ノ知り得タル情況次ノ如シ

一 敵ハ日没ニ於ケル如ク拜島附近ヨリ高月南方高地附近ニ亘ル線ニ停止シ其後情況變化ナシ

二 將校斥候ノ報告ニ依レハ約一師團ノ新タナル敵ノ縦隊ハ川越方向ヨリ所澤ヲ經テ南進シ午後晚ク小川附近ニ達シ宿營セリ



三 軍ハ道路故障ノ爲メ豫定ノ如ク前進スル能ハス本夜  
會屋附近ニ宿營セリ

四 相模川ニハ厚木及戸田ニ堅固ナル永久橋アリ上依智  
ニハ輕車輛ヲ通シ得ル假橋アリ同川ハ概シテ徒涉ヲ許  
サス

第二問題

午後十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ本夜暗ヲ利用シ厚木東北方座間入谷附近ニ退却シ  
同地附近ヲ占領シテ軍ノ相模川渡河ヲ掩護セントス

第三問題

支隊退却ノ爲メノ處置

研究項目

- 一 近ク後方ニ後續部隊ヲ有スル防者ニ對スル支隊長ノ決心
- 二 強大ナル敵兩方面ニ現出セシ場合支隊長ノ決心
- 三 夜間退却ノ處置

說 明

第一ノ決心 拜島附近ノ敵ハ我ヨリ弱勢ラシイガ目下扇町屋附近ニ達シテ  
居ルデアラウト豫想スル敵ノ到着前之ヲ各箇ニ擊破シ得ル見込ガナイカ  
ラ支隊ハ此際陣地ヲ占領シテ軍ノ進出ヲ容易ニサセルノガ至當デアルサ  
ウシテ第二十六想定ノヤウニ日野附近ヲモ占領シナイノハ支隊ガ拜島對  
岸附近ニ居レバ敵ノ後續部隊ハ拜島ノ友軍ニ合スルデアラウ若シサウデ  
ナクバ之ヲ擊破スル見込モアルガ今カラ日野方面ニ移レバ軍ノ進出スル



府中方面ニ近ク敵ヲ誘致スルコトハナル又同ジク北方ノ敵ニ對シテ多摩川右岸ノ陣地ヲ占領スルニモ狀況ニ依ツテ此ノヤウニ變化スルモノデア  
ルコトヲ了解スルコトガ必要デア  
ル  
第二ノ決心 支隊前面ノ敵モ可ナリ優勢デ新タニ小川方面ニ更ニ優勢ノ敵ガ現ハレタノデア  
ルカラ最早支隊ハ此附近ニ止マレナイ若シ從來ノ進路デア  
ル甲州街道方面ニ退却セバ遂ニ軍ニ協力スルコトガ出來ナクナリ又希望トシテハ八王子南方ノ山徑ヲ維持シタイガ軍ノ前進ガ後レ小川方面ノ敵ニ直ニ背後ニ迫ラレルカラ之モ不可能デア  
ル夫故最初ノ任務ハ遂ニ達スルコトガ出來ナイカラ次ハ相模川ノ渡河ヲ容易ニサセル爲メ其各渡河點ヲ掩護ガ出來テ軍ノ進出迄維持ノ出來ル見込ノアル座間入谷附近ニ退却スルノガ至當デア  
ル  
退却ノ處置 豫備ノ中一大隊ヲ直ニ小野路方面ニ派遣シテ小川方向ノ敵ニ對シ右側ヲ掩護サセ他ノ一大隊ヲ杉山御殿峠附近ニ派遣シテ支隊ノ退却ヲ收容サセル是レ支隊ガ八王子南方山地以南ニ退却スルノハドウシテモ

拂曉後トナルカラデア  
ル  
大行李及輜重ヲ八王子―厚木道上ニ轉進サセ衛生隊ヲ撤退シ次イデ砲兵(工兵ヲ附シ)歩兵ノ順序ニ退却サセル  
第一線ニハ各方面ニ一部ヲ殘置シ退却運動ヲ秘匿スル  
各部隊ニハ各別ノ道路ヲ配當シテ先ヅ橋本附近(行進目標)ニ集結シタ後座間入谷(退却目標)ニ向ヒ退却サセル

第三十想定

(八王子、上溝間)

一 前橋方向ノ敵ニ對シ八王子ヲ占領スヘキ任務ヲ有スル南軍混成第一旅團ハ會屋―厚木―八王子道ヲ前進シ十月十五日正午其前衛(步兵第一聯隊)第三大隊(欠)騎兵第一中隊(一小隊欠)野砲兵第一中隊、工兵第一中隊、步兵ノ先頭ヲ以テ上溝ニ達ス同時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ知ル



一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ北方ヨリ前進シ來リ本日午  
前七時其先頭ヲ以テ拜島南方ニ於テ多摩川ヲ通過セリ  
二 橋本及相原附近ニハ二、三時間前ヨリ歩兵ノ一部隊ア

リ

二

旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

第一問題

十月十五日正午ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ上溝附近ニ開進シ敵情ヲ偵察セントス

第二問題

旅團ノ開進地及前衛陣地

第三問題

前衛ノ偵察方法

情 況

旅團長ハ午後六時迄ニ左ノ報告ヲ受ク



- 一 敵ハ片倉倉北方高地ヨリ八王子西南方約千五百米高地ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領セリ
- 二 尙敵歩兵ノ小部隊ハ鑓水峠、御殿峠及七國峠附近ヲ占領セリ橋本附近ニ在リシハ敵ノ歩兵斥候ナリシ

第四問題

午後六時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ上溝附近ニ宿營セントス

第五問題

小比企附近敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

研究項目

- 一 敵カ何レノ線ヲ占領セルヤ不明ナル場合ニ於ケル旅團長ノ決心
- 二 開進地及前衛陣地
- 三 前衛ノ偵察法
- 四 夕刻敵陣地分リタル時ノ決心
- 五 敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

說 明

旅團長ノ決心 敵ガ多摩川ヲ通過シタ時刻カラ判斷スレバ多摩川右岸カラ八王子南方山地ニ亘ル間ニ於テ何レデモ占領スルコトガ出來現ニ前面ニモ少數ナガラ敵ノ歩兵ガ居ルノデアルカラ先キハ無暗ニ前進スルコトガ危険デアアル夫故先ヅ開進シテ敵情ヲ偵察スルノ必要ガアル

開進地及前衛陣地 開進地ハ上溝附近ノ谷地内ハ不可デアアル將來ノ進出ヲ



願慮シテ其東方臺上デ橋本北方峠附近ニ敵砲兵ガ居ルカモ知レヌカラ其  
 射程ヲ願慮シテ上溝東方約千五百米附近ニ開進シ前衛ハ矢部新田カラ上  
 溝西北方作口ニ亘ル間ヲ占領スル  
 前衛ノ偵察法 歩兵大隊長ノ指揮スルニ中隊ニ傳騎、砲、工兵將校ヲ附シ橋本  
 新開附近ニ根據地ヲ占メ之カラ斥候ヲ派遣シ或ハ小部隊ヲ驅逐シ敵情ヲ  
 偵察スル前衛砲兵ハ上溝北方高地上ニ陣地ヲ占領シ要スレバ砲擊ヲスル  
 夕刻ノ決心 敵陣地ガ分ツタガ尙開進地カラ三里モ前方デアル隨ツテ尙偵  
 察ノ結果デナケレバ拂曉攻撃モ出來ナイ夫故本日ハ此附近ニ宿營シ明日  
 更ニ前進シテ敵陣地ノ詳細ヲ確メタ後攻撃ヲ實施スルノガ至當デア  
 攻撃ノ爲メ地形判斷 片倉方面ハ地形錯雜窮屈デアツテ展開ノ餘地ガ少ナ  
 イ之ニ反シ湯殿川上流方面ハ展開及運動比較的容易デ且後方ニ餘地モア  
 ルカラ主力ヲ以テ此方面カラ攻撃スルノガ至當デア即チ判決ハ  
 旅團ハ一部ヲ以テ片倉方面主力ヲ以テ小比企西南方地區ヨリ攻撃スル  
 ヲ要ス

砲兵ハ二中队ヲ御殿峠(杉山峠)ニ、一中隊ハ直接主攻撃ニ協力スル爲メ小比  
 企西南方高地ニ陣地ヲ占領スル

第三十一想定

(八王子、原町田、上溝間)

- 一 東軍ハ宇都宮附近ニ集合中ニシテ其一部ハ既ニ西方及  
 西南方ニ前進セリ之ニ對スル西軍ハ長野地方ヨリ利根川  
 河孟ニ前進中ナリ
- 二 軍ニ協力シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル西  
 軍第一師團ハ會屋方向ヨリ前進シ川越方向ヨリ南下シタ  
 ル約同等ノ敵ト十月十六日上溝南方地區ニ於テ遭遇シ激  
 戰ノ後遂ニ敵ヲ北方ニ擊退シ同日夕上溝東西ノ線ヲ占領  
 セリ
- 三 第一師團長ノ隷下ニ入ルヘキ混成第三旅團(歩兵一旅團



山砲兵二中隊ヲ基幹トスハ十六日午後七時當麻附近ニ達シ宿營セリ

四

午後八時迄ニ師團長ノ得タル情況次ノ如シ  
敵ハ主力ヲ以テ八王子―厚木道ヲ一部ヲ以テ其東西兩峠ヲ通スル道路ヲ退却シ橋本及相原附近ニハ敵ノ小部隊停止シ在リ又鑓水、御殿、七國諸峠ニハ敵兵工事ヲ爲シツツ在ルモノノ如シ

第一問題

明十七日ノ爲メ第一師團長ノ情況判斷

第二問題

十六日夜ニ於ケル師團及混成旅團ノ宿營法

研究項目

- 一 山地ヲ守備セル敵ニ對スル情況判斷
- 二 戰鬪後ノ宿營

說明

情況判斷 敵ハ八王子南方諸峠ヲ占領シテ居ルカ八王子北方高地附近ヲ占領シテ居ルカ不明デアアルガ之ヲ正面カラ攻撃スルニハ比較的多クノ時間ヲ要スル而シテ軍主力ニ協力スル爲メニハ師團ハ成ルベク速ニ川越方面ニ進出スル必要ガアル之ガ爲メ全般ノ關係上小野路方面カラ敵ノ側背ニ迂回スルノガ適當デアアル併シ主力ヲ以テ迂回スルニトハ敵ノ出撃ニ對シ危險デアアルカラ混成旅團ヲ迂回サセルノガ適當デアアル即チ判決ハ師團ハ明十七日主力ヲ以テ前面ノ敵ヲ攻撃シ混成旅團ヲ以テ小野路方面ヨリ敵ノ側背ヲ脅威セシムルヲ要ス







右判斷ニ基ク配備

研究項目

- 一 任務達成ノ爲メ地形判斷
- 二 防禦配備

說明

地形判斷 小比企附近ノ陣地ヲ占領シヨウトスレバ半遭遇戰ニ近クシテ殆  
 ド陣地占領ノ餘裕ナク且諸峠ヨリ瞰制セサレ餘リ有利デナイ八王子北方  
 附近ノ高地ハ裕ニ之ヲ占領シ得テ地形亦可ナリ堅固ナルモ既ニ三縱隊ト  
 ナツテ前進シツ、在ル約二倍ノ敵ニ對シ本夕迄ノ持久困難デアツテ決戰  
 ヲ強ヒラレサウデアアル夫故何トカ手段ヲ盡シテ持久策ヲ講ジルコトガ必  
 要デアアル之ガ爲メ一部ヲ以テ小比企附近ニ於テ前進陣地ヲ占領シ成ルベ  
 ク敵ノ前進ヲ遲滯サセ主力ヲ以テ八王子北方高地ヲ占領スルノガ有利デ

アル即チ判決ハ

支隊ハ一部ヲ以テ小比企附近ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ主力ハ  
 八王子北方高地ヲ占領スルヲ要ス

防禦配備 歩兵一大隊野砲兵一中隊ヲ前進部隊トシ其主力ヲ以テ小比企西

方高地一部ヲ以テ片倉北方高地ヲ占領サセ敵ノ攻撃ヲ受ケルヤウニナツ  
 タラバ八王子西北方地區ニ退却セシメル

本陣地ノ右翼ハ谷野南方高地ニ托シ上大和田北側高地ヲ經テ左翼ヲ北大  
 谷東北高地ニ托シ砲兵ヲ標高一七一六高地及北大谷西北方標高一五四二  
 高地ニ置ク

敵ノ主攻撃方面ハ本日攻撃スルナラバ主トシテ其主力ノ前進方面ニ依ツ  
 テ決セラレルノデ我右翼若クハ左翼ノ何レノ方面ニ攻撃セラレルトモ之  
 ニ應ジルコトノ出來ルヤウ比較的多少ノ豫備隊ヲ持ツコトガ必要デアル  
 其他ノ細部ハ各自ノ研究ニ待ツ



第三十三想定

(扇町屋、八王子間)

- 一 南北兩軍ハ田無板橋ノ線ニ於テ相對峙シ決戦ヲ準備中ナリ
- 二 敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ有スル南軍ノ一支隊ハ厚木方向ヨリ前進シ十月十八日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ八王子ニ達ス此時支隊長ハ次ノコトヲ知ル  
歩兵三、四大隊ヲ基幹トスル諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ兒玉―高萩道ヲ南進中ニシテ午前九時ニハ黒須ニ達スル距離ニ在リ
- 三 支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

- 歩兵第一聯隊及同第二聯隊第一大隊
- 騎兵一小隊
- 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ高萩方向ノ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ八王子―扇町屋道ヲ前進セントス

第一情況



午前十一時支隊ハ其歩兵先頭ヲ以テ拜島北方約二千五百米十字路ニ達セシトキ扇町屋方向ヨリ南進セシ敵ハ約十五分前箱根崎附近ニ達シ該地附近ヲ占領シ始メタルコトヲ知り直ニ此敵ヲ攻撃スルニ決ス

注意 此附近ノ森林ハ密集部隊ノ通過ヲ許ス

### 第二問題

箱根崎附近支隊攻撃ノ爲メ地形判斷

### 第二情況

午前十一時支隊ハ其歩兵先頭ヲ以テ拜島北方約二千五百米十字路ニ達セシトキ扇町屋方向ヨリ南進セシ敵ハ約十分前箱根崎ニ達シ續イテ南進中ナルコトヲ知り支隊長ハ

此敵ヲ攻撃スルニ決ス

注意 此附近ノ森林ハ密集部隊ノ通過ヲ許シ百乃至二百米ハ通視スルヲ得

### 第三問題

拜島北方附近支隊攻撃配備

### 研究項目

- 一 敵ノ例背ヲ脅威スル任務ヲ有スル支隊長ノ決心
- 二 決戦防禦ヲ企圖セル敵ニ對スル攻撃
- 三 森林内ノ遭遇戦

### 説明

支隊長ノ決心 本軍方面ハ尙決戦ヲ準備中デアルカラ支隊長ノ遠ク側背ニ迫



ルコトハ敵トシテハ甚ダ苦痛ヲ感ジル夫故高萩方面ノ敵ハ恐ラク支隊ニ  
 向ツテ前進シテ來ルデアラウ其兵力ハ多クトモ支隊ト同等デアルカラ之  
 ヲ攻撃スル決心ヲ取ツタノデアアル箱根崎附近ニ前進シテ若シモ北方ノ敵  
 ガ所澤方面ニ前進セバ側背カラ之ヲ攻撃セバ善イノデアアル  
 攻●撃●ノ●爲●メ●地●形●判●斷● 此場合敵ハ箱根崎附近ニ於テ決戰防禦ヲシヨウトス  
 ルモノト判斷スルノガ至當デアル是レ地形モ之ニ適シ兵力モ大ナル差ナ  
 ク又持久的ニ陣地ヲ占領スル暇ガナイカラデアアル果シテ然ラバ敵ハ箱根  
 崎西方森林内ニ強大ナル豫備隊ヲ持ツテ居ルデアラウカラ支隊ハ之ニ對  
 シ  
 一○部○ヲ○以○テ○川○越○一○八○王○子○道○方○面○ヨ○リ○大○部○ヲ○以○テ○箱○根○崎○西○南○方○森○林○地○帶  
 ヲ○ヨ○リ○攻○撃○ス○ル○ヲ○要○ス○  
 而シテ正面ガ開濶シテ居ルカラ一部及砲兵ヲ以テセバ優ニ正面カラスル  
 敵ノ出撃ニ應ジルコトガ出來ル  
 森●林●内●ノ●遭●遇●戰● 此場合本道以西ハ比較的森林ガ少ナイカラ其方面ニ大部

ヲ用ヒ本道以東ニ一部ヲ用ヒ接戰ヲ準備シテ前進スルノデアアル其詳細ハ  
 森林戰鬪ノ原則ニ依ツテ研究セラレルガ善イ

第三十四想定

(拜島、扇町屋附近)

- 一 南北兩軍ハ田無、板橋ノ線ニ於テ相對峙シ決戰ヲ準備中ナリ
- 二 北軍ニ増援スヘキ任務ヲ以テ兒玉—高萩道ヲ前進セシ北軍増加隊ハ十月十八日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ扇町屋ニ達セシトキ軍司令官ヨリ次ノ要旨ノ訓令ヲ受領ス
  - 一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ厚木—八王子道ヲ北進中ニシテ午前九時ニハ八王子ニ達スル距離ニ在リ
  - 二 増加隊ハ此敵ニ對シ軍ノ右側ヲ掩護スヘシ
- 三 該増加隊ハ扇町屋—八王子道ヲ前進シ午前十時五十分